



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

日本人の知らない日本語			
著者名	蝦蔵&海野凧子	発行年	2009年
出版社名	メディアファクトリー	ページ数	63ページ
値段	880円	ISBN	4-840126731
コメント	国際交流最前線。 日々コレ疾風怒濤のナギコ先生と一緒にどうぞ。		

読者投稿欄				
ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間

うろくた ☆☆	Q:日本人は、なぜか日本語が世界で有数の難しさを誇ると信じています。なぜでしょう。 A:自分達も使いこなせてないから 個人的には『正しい』日本語って言葉が嫌いなので、複雑な気分で読み終わりました。 『正しい』の定義は、言語の性質上、『ある形式を使用している人の割合が最も高いときのその形式』とかにすべきで、そう考えるとバイト敬語は決して間違った日本語ではない・・・とか思ったりします。 ×正しい日本語 ○古典的日本語 に早くならないかな			
	全部	63P (20分)	適当に。漫画です。	2010/02/15 02:07:51

Mikey ☆☆☆☆	ふつうにおもしろいです。 日本語なんてレアな言葉を勉強しようとする外国人さんはみんなマジメなんですね。 どうでもいいんですけど、「はいジャックさん」が「ハイジャック」に見えました。			
	全部	63P (30分)		2010/02/14 21:43:46

#30 ☆☆☆☆☆	「を」って「お」と発音同じなの？っていうのが一番の驚きだった。 とても勉強になる。というか、日本語って難しいなあ。			
	全部	63P (30分)		2010/02/14 09:36:36

えむぼま	趙さんのラブレターうけます（笑）。 笑いだけでなく日本と外国の違いや日本語の単語のルーツなどが学べる一冊。日本のよさもわるさも垣間見た感じがしました。			
------	--	--	--	--

☆☆☆☆				
	全部	63P (30分)	57	2010/02/13 15:40:50
BLUE BLOOD ☆☆☆	カレーのルー入ってる食器？ そんなもの知らない。 一ページ一ページめくごとにへえーの連続。 日々これ勉強			
	1-139	139P (60分)		2010/01/30 21:10:02
M I A ! ☆☆☆☆	留学生ってよく勉強してるんだなと思った。 日本人の私たちが知らない日本のことがたくさんあることを改めて実感しました。			
	1-139	139P (50分)		2010/01/27 23:46:37
T A K E 2 G U ☆☆☆☆☆	面白い！！ やっぱ外人からしてみれば日本語は難しいのかなぁ～ 続巻希望			
	全部	139P (20分)	どこでも	2010/01/26 13:33:14
だいすけもん ☆☆☆☆☆	いや、マジで面白かったです。 おビールのくだりは笑えました。			
	全部	139P (30分)	どこでも	2010/01/26 12:15:19
iwatobi-penguin ☆☆☆☆☆	目から鱗です。本当に日本語の盲点というか普段意識していなことや外国人から見た日本語というものを漫画でわかりやすく書かれています。ぜひ一読を。			
	1-139	139P (30分)		2010/01/25 10:14:49
ぷりぷり ☆☆☆☆☆	普通にももしろいマンガって感じです。 外国人就学生の間違いがかわいくて笑えます。 正しい日本語も勉強できるのでとてもお勧めの一冊。			
	全部	139P (25分)	4コマ	2010/01/18 21:52:28
黒鳥 ☆☆☆☆	普通に面白い。間違いないって感じですね。 よく日本に来たがる外人さんは、どこか変と言いますが、まさにそれがよく現れている気がします。 でも要はみんなすごい真面目なんだよね。。 ・・・がんばらなくては！！			
	8-139	131P (30分)	41-44 , 50-53 , 96	2010/01/14 15:50:34
harry ☆☆☆☆☆	クイズも楽しんで取り組みました。 笑いと「なるほど～」の連続。一気に読んでしまいました。			
	全部	63P (30分)	4コマ漫画ページ	2010/01/09 22:57:54
Caporal	当たり前のようになんとなく使っている日本語だけど、結構使い方を間違っているのだなあと 思ってしまった。しかし電車のなかで読んで「メメタア」は笑ってしまったw			

☆☆☆☆	全部	143P (20分)	全部立ち読みで読めます	2010/01/05 10:55:59
肉 ☆☆☆☆☆	面白かった！！ 堅い感じの本が多い中、この本はマンガであるため非常に読みやすかった。それに内容も良い。 オアシス的な1冊ではないでしょうか。			
	全部	63P (80分)		2010/01/03 21:46:11
アルフ ☆☆☆☆☆	漫画なので気楽に読めるし、留学生達の素がとっても面白いです。 バイト敬語は自分も常々腹立たしく思っていました。 冊数増やしたい人ぜひおすすめ。			
	全部	63P (30分)	全部いっちゃおう！	2009/12/22 03:31:02
ぶるー ☆☆☆☆☆	日本語って比較的簡単な言葉だって言うけれど、奥が深くて面白い！日本にいるからこそ当たり前のことも、外国の人にとっては不思議で謎で仕方ないんだろうな。マンガを読みながら笑ってしまいますが、もし自分が聞かれたら答えられないだろうなって思う質問がたくさんあって、自分の勉強不足を実感しました。 せめて自分の国のことくらい、ちゃんと説明できる人でありたいと強く思いました。			
	全部	63P (30分)	p110,お見舞いのルール	2009/12/15 02:26:59
hana ☆☆☆☆	かわいらしい絵で、おもしろい内容もりだくさんで、とっても楽しめました。 英米人からみた日本人の英語もこんな感じ!?もしそうなら、彼らみたいにいっぱい質問していっぱい言葉を使って間違えても、笑って受け入れてもらえることもあるのかも!?!と思えました。 ちょっと自信と勇気をもらえた気がします。			
	全部	63P (30分)		2009/12/02 21:38:36
フィクサー ☆☆☆☆	日本人の知らない、というか、日本人だから知らない、気につけない日本語の部分を扱っていて、外国人生徒さんの質問に、「そこ!?!」とつっこみたくなります。でも、敬語など使えるべきなのにきちんと使えていない言葉使いもあって、なかなかためになります。章ごとの問題も楽しめます。漫画なのでとても読みやすく、冊数稼ぎにおすすめです。			
	全部	63P (30分)		2009/12/02 13:35:20
つきもち ☆☆☆☆☆	日本語の素晴らしさを感じさせる本でした。 最近敬語などあいまいに使っているけどこの本を読んで改めて敬語をしっかりと使える日本人になりたいなあ、と思った。			
	全部	63P (90分)	裏表紙	2009/12/01 12:41:15
NIKI ☆☆☆☆	日本人である自分が知らない事が多くて、とても勉強になった。そして、日本語を勉強している外国人とぜひとも話してみたい、と思った。			
	全部	63P (30分)		2009/12/01 10:17:23
Got's ☆☆☆☆	非常に面白かったです。日本人でも全然自分の言語についてわかってないなと。。。 笑いながら、感心しながら、あっという間に読んでしまいました。 俺もバイト言葉使っちゃってるなあ〜(汗			
	全部	63P (30分)	全部	2009/11/19 12:50:17

PO ☆☆☆☆☆	読みやすい！！ 気づいたら一人で爆笑してました。			
	全部	63P (30分)		2009/11/17 00:45:19
ぴよ彦 ☆☆☆☆☆	漫画なのであっさり読めるし、面白い。 日本人は普段何の疑問も抱かず日本語を使っているけど、実は日本語について何も知らないんだなと実感した。			
	全部	63P (20分)	全部	2009/11/08 13:46:24
ざわ ☆☆☆☆☆	他の国の文化を学ぶのも面白いけど、自分の国、日本の文化を見つめなおすのも面白いなあとつくつく思いました。日本って、日本語って、こう見られているんだなあと笑えることがたくさんです。 国語で文法や古典を嫌々ながら学んでいたけど、自分の国のことを知る点で大切だったんだなあと思いました。			
	全部	63P (60分)		2009/11/06 21:35:55
puzdog ☆☆☆	当然と思っている日本文化も外国人学生のように疑ってかかればそこには歴史の奥深さがあるのだなと感じた。 どの内容も「ヘー」と思う一方、日本人はどれだけ日本を知っているのだろうかと不安になった。余談だが「アメリカ人の知らない英語」とかでたら日本人が話題になるのだろうか。			
	全部	140P (60分)		2009/11/04 11:48:21
りょへ ☆☆☆☆☆	なるほど、と思わせる一冊。漫画ということもありすらすら読みやすい。異文化っておもしろいですね。			
	全部	63P (5分)		2009/11/04 01:49:57
トム ☆☆☆	登場する外国人たちが、ひとりひとり個性的で面白かった。 彼らの質問は、日本人が普段意識しないようなことばかりで、説明するのが難しく、日本語を教えるのは非常に大変だと思った。 それにしても、東工大の留学生の日本語は上手すぎる・・・			
	全部	63P (40分)		2009/11/04 00:16:53
ソロコフ ☆☆☆	マンガなので読みやすい。息抜きに良いと思います。テストの○×など国によって些細な違いがあり、そういう違いは面白い。			
	全部	63P (30分)		2009/11/01 22:16:30
@ ☆☆☆☆☆	普通にとても面白いです。 個人的には恋するチャイニーズがツボ(笑) マンガだからと言って、侮れません。 言葉や文字の由来など、タイトルのように私たちの知らないことがたくさん書いてありました。 途中にあるミニクイズみたいなのが、簡単なものがほとんどですが、案外難しいのも含まれています。			
	全部	63P (30分)		2009/10/27 20:12:31
日吉本町四丁目南	電車ですぐに読むことができますが、そのときは注意しましょう。にやけていると変な人に思われます〈笑〉 しかし、面白いだけであって、タイトルから感じ取れるものとはちょっと違うかなというイメージを持ちました。			

☆☆☆				
	全部	63P (30分)	これはすぐに全部読めます	2009/10/27 07:05:51
くま ☆☆☆☆	絵も可愛いし、内容も面白いし、☆四つにしました。 実際、日本語は本気で勉強してきてないぶん、そうだったのか、と気づくところもありました。			
	全部	63P (15分)	57	2009/10/26 00:44:13
gpx ☆☆☆☆	何度も笑ってしまった。 知らないことばかりだった。			
	すべて	63P (50分)	6ページ	2009/10/20 01:46:01
jessy ☆☆☆☆☆	面白い！電車の中で読むと恥ずかしい！吹き出すから！笑 勉強にもなる。外国人から見て日本語はそんな感じなんだ。外国人だからこそ疑問に思う質問に付随して、色んなこと学んじゃおう！			
	全て	63P (50分)	どこでもOK	2009/10/19 02:10:41
くらしく ☆☆☆☆	どこを読んでも面白いのでちらっと見て笑えれば全部読めばいいと思います。 日本人こそ意外に日本語を知らないものです。 そう思えばアメリカ人に「自分の英語は完璧じゃないから」なんて臆すこともなく話せるのではないのでしょうか。 彼らも英語が完璧ではないのです。			
	全部	140P (30分)	どこでも	2009/10/14 12:35:34
とんべい ☆☆☆☆	内容は題名のとおりです。日本語を勉強する外国人だからこそ気づくようなところとか、いろんな言葉の語源とか・・・ 漫画のスタイルだしページ数も少ないのでおやつ感覚で読めるのでお勧めです。			
	全部	63P (60分)	どこでも大体面白い	2009/10/13 12:37:24
trick ☆☆☆	「ダーリンは外国人」や「オタリーマン」が売れたころから発行部数が増えた類のマンガであることはまちがいないかと。 30分程度のひまをつぶしたい人、目標ページに63ページ足りない人におすすめ。自分で買うほどのものではないのでここで読むのはある意味正解・・・？			
	だいたいぜんぶ	63P (30分)	64-71	2009/10/07 04:26:50

[TOP](#) ^



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

街場の現代思想

著者名	内田 樹	発行年	2008年
出版社名	文春文庫	ページ数	234ページ
値段	571円	ISBN	4-167717735
コメント	だってそうでしょ？——ウチダさんの議論はとっても平易で、なのにユニークで痛快。会社と給料、結婚という「終わりなき不快」から、あなたがなぜバレンタインの義理チョコをもらえないかに至るまで。さくさくさくさく、いろんな疑問がここよく碎け散ってゆく。78ページから読み始めるのがオススメです。 ちなみに私は下記のフレーズに感動しました。 「学者が学者でいられるのは、自分の理論を否定するデータを他の研究者より早く発見しようと努力する限りにおいてである」（126ページ） なあるほど。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
あ、あめふと 2号 ☆☆☆☆	「文化資本」の差というのをたしかに今の時代感じなくはない。自分もその例外ではなく、この授業をとっているが、もともとそんなに読書家ではない。馬鹿の壁によって馬鹿組に区分されないよに今後もっと読書をしていかなくはならない（ただそれだけの理由で読書をするものではないと思うが）。			
	1-20	20P (20分)		2010/02/14 14:44:05
TD ☆☆☆☆	早く結婚したいと思っていたが、路線変更。 今のうちにたくさんの恋をしておきたいなと思った。終わりなき「受難」に備えて楽しい思い出をためておきたい。 また、人間と動物の違いは墓をつくることにあるという話は興味深かった。			
	145－163	18P (10分)	145－163	2010/02/13 22:40:39
えむぼま ☆☆☆☆	語り口調や視点は独特で面白いと思った。全部を盲信すると疲れるから受け流し態勢で読むのがいいと思う。 子供がストレスになるのは自分の経験からわかるとか無理やりじゃない？と思うところが多々あったが、負け犬・勝ち犬の話は楽しく読めた。自分に合うとこだけ読めば楽しく読めると思います。			
	全部	234P (250分)	54-75	2010/02/13 16:15:17
gpx ☆☆☆☆☆	学歴についてどう考えているのか知りたくてこの部分を読みました。 所詮東工大東大未満と思いつつも、私立の友人にはすこし自慢してしまう自分が悲しい。。。			

	204-210	7P (5分)	204-210	2010/02/13 08:09:23
jessy ☆☆☆	給与とか大学とかの目次を見て興味が湧いたが、読んでみるとだれでも分かるようなことしか書いてない気がした。私が単に自分の悩みに当てはめようとし過ぎなんだろうけど。でも、読みやすくて今の人々の考え方が上手くまとまってるとってことで☆3つ！			
	96-105 204-210	17P (15分)	気になった項目をどうぞ	2010/01/28 10:34:52
iwatobi-penguin ☆☆☆☆☆	日常生活やニュースなどで話題になってる話題の根底にある思想的なものを作者の主観を交えて鋭く指摘してあります。とくにフリーター問題は非常に深刻で身近なテーマだと思いました。このままだと待っているのは大量の孤独死だそうです。一読の価値はあります。			
	1-227	60P (227分)		2010/01/25 10:20:42
アルフ ☆☆☆	現代社会の問題に対して筆者が独特な視点から答えています。ちょっと達観しすぎてるかなとも思えるところもあるけどなかなかおもしろい。			
	全部	234P (120分)	36-51	2010/01/19 01:39:33
PO ☆☆☆☆	読みやすかったです			
	全部	234P (180分)		2010/01/11 22:36:22
@ ☆☆☆	目次を読んで、興味のある項目だけ読んで見ました。 確かに皆が言うとおりの納得のできない部分や、論点がずれているのでは？と思う部分もたくさん出てきましたが、私が読んだところはおおよそ納得がいきましたよ？ ただ、離婚のところは読んで嫌になりました…			
	10-19、54-75、78-95、133-210ページ	128P (100分)		2009/12/16 00:20:56
トム ☆☆☆	結婚や離婚の話あたりが面白そうだったので読んでみました。 離婚の話をゲームのリセットボタンに例えているところは、確かにそうかもしれないなと思いました。			
	78-88、145-185	50P (30分)		2009/12/15 13:01:39
びよ彦 ☆☆☆	哲学的な内容だけど堅苦しくなく、むしろ軽やか滑らかな語り口で理解しやすい。ただ、バレンタインデーチョコの件は的外れな気がする。			
	全部	234P (160分)		2009/12/15 07:53:25
ざわ ☆☆☆	斬新な意見もあり、新たに学ぶこともあるぶん、うーんとちょっと納得いかない意見もありました。あと、質問、相談に対しての答えがずれているところもある感じがします。でも、テーマ自体は身近な興味のあることが多いから、読みやすかったです。 他者と共生する能力…人間は他の人と関わって生きていくんだなぁと改めて思いました。			
	10-105,145-259ページ	209P (180分)		2009/12/11 23:04:01
T A K E 2 G U ☆☆☆☆	とても読みやすい 内容も面白くてGOOD			
	54-59,78-105,133-144,186-203	60P (40分)	目次を見て気になったところ	2009/12/03 09:41:43

Whatever ☆☆☆	章ごとに、現代人がぶつかる様々な質問が用意され、それに内田さんが答えるというスタイル。極論が多い気がする。 章によっては全力で否定したい気になるが、痛快で面白い考え方だと思える話も。 特に最後の章、生きることの愉しさ、は誰でも一度は考えたことがあると思うので、オススメです。手塚治虫作品の共通点、ああ、そうだったのか・・・思わずため息。			
	全部	234P (180分)	あとがき	2009/12/01 00:35:20

肉 ☆☆☆	目次を見ると、分野ごとに話が分けられているので、自分が興味あるところだけ読めるのが丁度この授業に合っている。 「大学」に関するところを読みみて思ったのは、筆者と違い、アマゾンのような検索システムは欲しいです！ってことです。			
	186-203	18P (20分)		2009/11/23 19:11:04

ムーディーかまやつ ☆	「若者には教養がない。それは文化資本の差により階層化が進んでいるからだ。一億総プチ文化資本家戦略により階層社会の出現を先送りにできたらいいな」 まず読み呆然とし、そして抑えることの出来ぬ怒りが沸々と湧き出してきました。 マルクスの階級と階層を（わざわざ）説明するのにそれを混同し、ポストモダン・島宇宙化を伏線にしながら回収せず、果ては文化と教養を巧妙に入れ替える。フランスでの階層社会が日本で再現される条件・前提、何も書かずただ危機感を煽る。「気づいた人が文化を資本たらしめる」と延べ、そのような社会は良くないと危機感を煽る、つまりは自分で勝手に作り上げた概念の中で読者を踊らせ手玉に取る態度でもって自ら作り上げた差異体系間の差異から自分が利潤を稼ごうとしている。果たしてそれが正しいインテリおやじの在り方か。 そもそも8・90年代を通じてハイカルチャーと看做されていた文化・思想などはもはや無数のサブカルチャーと同型のジャンルになってしまったはずなのに、そのような事態を無かったことあるいは無いことにしている。無かったことにし、ではハイカルチャーとはどのような利益を生み出すのかと問われれば「ピアノをさらって弾き女の子にモテて、あるいは語学堪能だから社長の海外出張に同伴できる」と答える。ふざける。 もっと言うと、なぜ日本総中流社会が崩壊したのか、マルクス主義の敗北とはなんだったのか、などの著者が生きてきた歴史への無自覚な忘却は、その態度を「動物化」と揶揄した東浩紀でなくとも怒りを覚える。忘却し、ただ「今と戯れよう」と言うのならまだしも「昔に戻ろう」なんて、歴史を見ようとする人間の言うことではない。（そのような点で2章4・6あたりに「歴史の終焉が好き」「失敗から学べ」などと書いてあるのは、呆れるを通り越して笑ってしまう。ついでに他トピックスに文句つけると結婚論はあまりに現在の状況と乖離している。それが2004年に記されたものとしても、レヴィナスを援用してはいるのだろうが、子供に対する言及はあまりに薄っぺらく、押井守の「子育てこそ究極の人形遊び」「人間に対する他者は犬や人形や建築であってかわらない」というメッセージの方がはるかにリアリティがある。よっぽど本を捨ててやろうかと思ったけど学校のものなのでここに悪口を書くほか無い。） なにがここまで愚かしい文章を書かせるのかと思ったら『大学について』の章を読んで納得いった。自己の延命にしか興味が無いのである。 「吉本隆明のような尊敬に値する先行世代に自分もなろうとした」と笠井潔が述べたようなミメシスを、果たして著者は生み出せるのか。できる訳が無い。彼が生み出すのは自己保身の為に人文知的ジャーゴンを駆使し大衆を愚弄する醜い文筆家もどきである。 どこぞの私立女子大で勝手にバレンタインのチョコでも食ってやがれ。			
	1-259	259P (180分)	なし	2009/11/22 00:49:24

くま ☆☆☆	読みやすいです。この語り口はすきです。 文化資本の考えに、私も普段から思っていたので共感できました。			
	全部	259P (150分)	文化資本の考えあたり	2009/11/20 19:22:51

puzdog ☆☆☆	文化資本の話はその言葉の発想と深い展開が面白い。 彼女がいない自分はランティエとして充実した大学生活を送りたいと思う（笑）			
	1-114,186-210	150P (100分)		2009/11/10 23:53:38

ねりな ☆	とても読みやすいです。「大学について」の章は楽しかったです。正しいことを言っているとも思います。 ただ、各テーマ自体がつまらない。それに話が長い。もしくはもっと深く掘り下げた話ができような・・・。 語り口が滑らかで上手いからそう感じるだけでしょうか。もしくは小説に慣れすぎてしまって、「含み」がないと面白く感じなくなってしまった自分が悪いのか。。			
	10-51,78-105,186-203	88P (60分)		2009/10/24 23:56:42
Mikey ☆☆☆☆☆	哲学の本なのに身近な事例ばかりでとても読みやすかったです。 離婚の話とバレンタインの話は、とても新鮮だったのでオススメです。			
	54-115,145-185ページ	103P (120分)	164-171ページ	2009/10/19 22:06:15
ソロコフ ☆☆	目次の各章のタイトルをみて読むところを決めました。どれも作者独自の観点から問題や質問に答えています。納得できる部分とそうでないところがあるような気がしました。			
	1-51,186-210ページ	75P (60分)	なし	2009/10/18 22:24:47

[TOP](#) 



図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

コミュニケーションデザイン

著者名	岸勇希	発行年	2008年
出版社名	電通	ページ数	186ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4885531989
コメント	コミュニケーションをデザインするための本 あんなヒット例、こんなサクセス例。うきうきと並べてゆくことで、この本自体が電通という企業のリッチなコマーシャルになってしまっているのだから、したたかと言うか。 でも披露される、たくさんのテクニックは、ふむふむなるほどと興味を引くものばかり。 そうそう、「40人40色の恋愛模様」のサイトに仕掛けられた人気投票システムは、我がヒストリアンズでもすでに実現しているではないですか！ やったね♪		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ten ☆☆☆☆	広告にもコミュニケーションにもデザインにも興味があったもので、この本はかなり興味深かったです。 気持ちをデザインする。コミュニケーションをデザインする。『ポール・ランド、デザインの授業』という本の中の「デザインとは関係である」という言葉を思い出しました。少し違うかもしれないけど…。			
	全部	186P (60分)		2010/02/15 05:10:29
Got's ☆☆☆☆☆	とても読み進めやすかったです。 コミュニケーションをデザインするっていうのが良かったですね。 ぶつ切りにする訳じゃなくて、トータルでデザインしないと！			
	全部	186P (120分)		2010/02/15 02:32:23
#30 ☆☆☆☆	この本自体が広告みたくなくて、パラパラと眺める感じで読めた。 広告デザインは、ただ斬新なだけではダメで、斬新さの土台にはしっかりとした目的だとか伝えたい意図がなければいけないのだと思った。これらの成功例にはそれがよくあらわれていたと思う。			
	全部	186P (120分)		2010/02/14 11:04:48
	発想の転換ってとても大事だね。深く思考することの重要性に気付かされた気がする。 絵もうまくなし、パソコンがすごくいじれるわけでもないからデザイナーなんて絶対なれないなあ と思っていたけれど、コミュニケーションデザインなら・・・って思いました。			

黒鳥 ☆☆☆☆	時空間行く人は目を通すだけでもすごい価値がある気がする。 絵だけが、パソコンだけがデザインの道具じゃないんだよ			
	2-67	66P (45分)	crazy hours	2010/02/14 11:01:31

trick ☆☆☆☆☆	つい2周読んでしまった。 自分が小遣い程度にデザインの仕事をしているのもあって手にとったが全体的に納得がいくし参考になる考え方、事例も多かった。 ただ特殊な事例故にたまたま成功しているようなケースも見受けられ、デザインの現場での一般的なケースばかりではなかった。そういう意味ではあくまで面白い読み物としてのカラーが強い本かもしれない。			
	all	186P (240分)	どこでもいいから一章	2010/01/27 01:59:52

とんべい ☆☆☆☆☆	本というよりカタログって感じ。 斜め読みしても内容が頭に入ってくる軽い感じがいい。 いままでは広告って消費者に買ってくださいって媚びてるイメージがあったけど、分かる人だけ分かればいいっていう突き放した広告もあるのが新鮮だった。			
	全部	186P (180分)	61-80	2010/01/26 01:54:48

puzdog ☆☆☆☆☆	ただ商品を伝えるだけでなく、消費者の動きを予想、行動を促してデザインする。まさにコミュニケーションデザイン！ 高級時計の例はただ多くの人に伝えるのではなく、興味を持つ人を絞り込むという逆手をとったアプローチが斬新だった。 デザインはソリューションを与えること。いい言葉ではないですか。 余談だがブランディングと関係が深そうなのでK大学のK君におすすめしたい。			
	1-100	100P (50分)	お好きなところ	2009/12/31 18:05:21

blue ☆☆☆☆	一番納得したのは、マリエールのcmであえて疑問点を残し消費者に調べてもらうところでした。 いかに興味を持ち能動的にさせ、購買まで持っていけるのかって難しいけど、楽しさとまじめさがすごく伝わってきました。 気持ちをデザインするなんて素敵です。変なハウツー本よりよっぽどよかったです。			
	1-199	199P (250分)	フマキラーのところ	2009/12/25 16:05:49

りょへ ☆☆☆☆☆	ヤバイ！ 今まで読んだ本の中で一番好きです。普通に面白すぎる。 思わず、なるほどねーと声が出てしまう一冊だと思った。 書いてある事例をみると、コミュニケーションデザインがなんたるかが少しわかった気になる、そして、そんなやり方があったのか！と思わせてくれるそんなキャッチーなアイテムである。			
	最後にやってくれる、 デザインすべきは“仕組み”ではなく“気持ち” さすがっす。			
	全部	186P (120分)	全部	2009/12/06 02:56:48

@	身近な事例が多かったので、親しみが持てました。 腕時計の愛の告白は、とっても粋で、されてみたい！と思いました(笑) 定量的・定性的調査の話も出てきて、社会科学原論で学んでいたのも、よくわかったなあといったところもありました。			
---	---	--	--	--

☆☆☆☆

電通の名刺、とっても素敵だと思います！

全部

186P (200分)

74-76、178、184-185
ページ

2009/10/22 21:49:00

ぶるー

☆☆☆☆☆

広報ってこうやって行われているのか！と自分の専門とは違う分野をのぞき見た気分。
考え方はとても論理的で、作戦をねって仕掛けていき、それがばっちり当たった時はとてつもなく
気持ちいいんだろーなーとか勝手に作者の気持ちになってみたり。

読み終わってみて「コミュニケーションデザイン」という意味を理解しました。

全部

186P (120分)

時計の宣伝

2009/10/20 22:11:48

[TOP](#) ^



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

プレイ・ジョブ			
著者名	ポール・アーデン	発行年	2008年
出版社名	サンクチュアリ出版	ページ数	144ページ
値段	1,200円	ISBN	4-861139239
コメント	33ページがエロティックでステキ☆		

読者投稿欄				
ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ten ☆☆☆	思いつきポジな本でした。このシリーズは装丁が素敵。 ネガネガな自分から見ればかなり魅力的な言葉の数々。どうしてもなく行き詰っても、この本を思い出して切り抜けられそうな気がします。			
	全部	144P (40分)		2010/02/15 04:07:20
Mikey ☆☆	どこかで見たことあるような文句ばかり。 本のデザインとかはかっこいいけど、最初の5ページで飽きちゃいそうだった。			
	全部	144P (20分)		2010/02/14 21:47:23
gpx ☆☆☆☆☆	従順な毎日を捨てろ この言葉に何か忘れていたものを思い出しました 元気ややる気が出てよかったです			
	1-159	144P (30分)	52-53	2010/02/13 07:57:16
名無し ☆☆☆☆☆	全ページフルカラーで、長ったらしい文章じゃないので飽きないし主張がわかりやすかった。これ 読んだ人は任天堂のやつも読んでみるといいかもしれん。			
	全部	144P (90分)		2010/02/11 02:40:28
iwatobi-penguin ☆☆☆☆☆	疲れた時にとてもハイな気分になってくれそうです。絵も多く読みやすくオススメです。仕事しま なきゃ損だぜベイビーみたいな感じでひたすら続いていきます。もう楽しんでいる人は必要ないか な。			

	1-150	150P (30分)		2010/02/06 22:24:26
trick ☆☆☆	んー。思ったより衝撃的ではなかった。カラーで楽しく読めるし、読んで損した気にはならないけど昔考えたことあるなあこういうの、っていう話も多かったり。 駄目人間と揶揄された時の言い訳とか逃げ道的には美味しそうな話も（笑			
	all	144P (100分)		2010/02/01 04:35:29
あ、あめふと 2号 ☆☆☆	非論理的な事はすばらしい、 最近部活で非論理的(?)な運動ばかりやっているが、これを読んだ後ならポジっとなれる。			
	全部	144P (100分)		2010/01/24 06:08:13
アメフト4号 ☆☆☆☆	全ページカラーで面白かった。こんな人生もあるのかと思った。			
	1-144	144P (40分)		2010/01/23 22:11:41
まじ ☆☆☆	人生をもっとリスキーに大胆に生きると促している本。 どのページも同じようなことを言っているが、たまにおもしろいと思えるものもあってよかった。 この本で感じたことを頭の片隅に入れておけば後々役立つかもと思う。			
	全部	150P (30分)		2010/01/05 18:13:28
アメフト3号 ☆☆☆☆☆	いままで自分が考えていたことがすごく小さく感じる！！ もっと大きな心でドンッと構えないって思える！			
	全部	144P (50分)	全部	2009/12/26 14:59:18
jessy ☆☆☆	大胆なことが多くて笑えるところもあった。 スポーツをやっているときコーチにさんざん言われてたけど、チャレンジ精神って何においても大事だね！！			
	全部	157P (40分)		2009/12/22 16:02:33
だいすけもん ☆☆☆☆☆	イラストや写真を使って、読者にわかりやすく、心に残るように工夫されている。 内容としても、多くの人にとっては、今までの考え方を覆すようなものである。この内容が正しいかどうかは別にして、一度読んでみるといいのかもしれない。			
	1-157	157P (40分)		2009/12/22 12:49:23
ソロコフ ☆☆☆☆	年を重ねるごとにリスク回避的になるというのは過去の自分を振り返ると強く同感できる。いまでも小学生くらいの時が一番自分の考えを信じて決断していたなあと。KYという言葉がはやる社会において自分の信念を保持することに砕けそうになったときまたこの本を読みたい。			
	全部	144P (30分)		2009/12/10 21:19:35
ぴよ彦 ☆☆☆	この本を読み終えたとき、私の心は高鳴った。 「このままじゃダメだ」、「もっとポジティブに、もっとアクティブに」、「成功者になってみたい」、そんな想いが頭の中を駆け巡った。 「必ず自分を変えてみせる」、そう誓った。 それから数日経ち、 私は今日も、今までと同じように、自堕落な学生生活を送っている。			

	全部	144P (60分)		2009/12/08 15:08:12
日吉本町四丁目南 ☆☆	確かに発想は面白いし、新しい事をしている。 でも、どこかで聞いたことのあるような文句ばかりだ。 WHAT'S YOUR OPINION さあ、あなたの意見を言ってくれ。			
	全部	144P (90分)		2009/12/08 01:07:22
T A K E 2 G U ☆☆☆	発想が面白い ただ、この本に書いてあることを実践したら人生失敗しそう			
	全部	157P (30分)	全部	2009/12/03 09:48:00
NIKI ☆☆☆☆☆	共感できる部分があったり、こういう風に考えて生きられたら人生が楽しいし、それこそ何か自分にもできるのではないかと、と思わせてくれるような本で読んでいてとてもわくわくした。自分でも買ってみようかと思うくらい私は気に入った。落ち込んだり、行き詰った時に読み返したくなりそうな気がする。			
	全部	157P (50分)		2009/12/01 23:19:41
トム ☆☆☆	トラファルガー広場のネルソン像はやっぱり高い所にある方がいいですね。 ASTONISH ME! 気に入っちゃいました。			
	全部	150P (60分)	84,85,148,149	2009/12/01 19:35:03
つきもち ☆☆☆☆☆	なんか一気に元気になりました。 一度きりの人生を派手に生きないとな、って思いました。			
	ぜんぶ	156P (60分)	ぱっと開いたページ	2009/12/01 12:47:29
Whatever ☆☆☆	常識を変えてみる、今の自分を突き破れ、リスクをとってみろ。 みんなが一度は言われたり、心のどこかで思っていることではある。 それをユニークな写真と共に、ひたすら羅列して、訴えかけてくる本。 わかっているけど、わかっていなかったことに気付いたりもする。 そもそも毎日こんなことを考えてる訳じゃない。 人によっては、いいキッカケをつかめるかも。			
	全部	144P (30分)	122-125	2009/11/21 12:24:56
blue ☆☆	うーん、自分がどうなのかが問題だけど、日本の体質には合わないでしょう。だってアーデンさん、こんなこといっちゃナンセンスすぎだけど、でも人間には責任が付き物ですよ。一人で生きているわけじゃないんですよ。考えに勢いがあったて楽しませてくれましたけど。 あと、V & Aのキャッチコピーが一番最後ののいいのは当然でしょ。僕だって選べましたから。これってあなたがおっしゃるエゴですけどね。			
	全部	144P (90分)	どこでも	2009/11/18 00:55:31
くま ☆☆☆	写真がこっけいなものが多い。 「実現可能なものいいアイデア」 とか 「結局自分の人生がどこに行き着くのか、それが知りたいなら、自分が今どこへ向かって理羽化知 る必要がある」 って言葉が頭に残った。			

	私はどこに向かっていているのだろうか。			
	全部	144P (40分)	p58 p33	2009/11/17 23:04:29
puzdog ☆☆☆	これを読んだ後、自分の中で何かが変わった。まるでひとつの芸術作品を見た後のように。何が変わったのか小さすぎてよくわからない。この感覚は読んだ人にしかわからないかも。 ただし、この本は芸術作品のように好き嫌いが分かれそうだから全員がこの感覚を味わえるとは保証できない。			
	全部	150P (30分)		2009/11/10 23:35:46
ぶるー ☆☆☆	始めのほうを読んでもっと衝撃的な内容かと思ったけど、意外と共感できる内容でした。 あなたの野心がこの程度だとしても・・・ 目指すところはこれくらいで・・・ このページが一番好きです。			
	全部	144P (90分)	P64,65	2009/11/10 22:51:00
りょへ ☆☆☆☆☆	共感できるところが多く、面白かった。論理的な人間はあってるけどどうもこう、上手く言えないけど間違ってる気がするという人にはびったりではないだろうか。			
	全部	144P (5分)		2009/11/04 01:54:31
M I A ! ☆☆☆☆☆	揺ぎ無い信念の下にとった行動は必ず人生の糧になる。 世間の常識、リスクを恐れていたなら将来に繋がる大発見は見つからないということを教わりました。 やらないで後悔するよりも、やって後悔する人生を送ろうと思います。			
	1-157	157P (40分)	44-45	2009/11/04 00:02:26
ざわ ☆☆☆☆☆	心に留めておきたい言葉がいっぱいでした。 気分が落ちたり、もやもやしたり、不安になったりしたときに読んで、エネルギーを注入したいです。			
	全部	144P (60分)		2009/10/24 22:51:16
hana ☆☆☆☆☆	どのページからもインパクトのある言葉と映像とデザインをまとめて、何かが心の中にもぐりこんできます。 いつにまにか安定へ、さらには停滞方向へと向かって自分の思考回路に気づかされました。 読み終わると、「リスクィー」という言葉が、すてきなものに見えてきました。			
	全部	157P (50分)	56-57,64-65,148-149	2009/10/22 08:06:11
@ ☆☆☆☆☆	単純なコメントですが、すごく「いいこと」が書いてあるな、と思いました。考え方が変わりそうです。 特に私は44-45ページに感銘を受けました。確かに後悔をする余地はないかもしれないですね。 68-69ページは、今後ぜひ活用したいと思いました。			
	全部	157P (30分)	44-45ページ、66-69ページ、88-93ページ	2009/10/20 23:42:38
	130-131ページに著者のセンスを感じました。また個人的にですが、今の自分がなくなってしまうかつての自分がもっていたものを思い出させてくれる言葉がありました。パラパラとめくって読んでみれば、いくつかは必ず心に響くものがあると思います。			

フィクサー ☆☆☆	ただ、言葉自体を翻訳することはできても、あちらの文化を翻訳することはできないなとも思いました。あまりに日本と文化が違うため参考になりそうもないものも結構あったので。			
	1-157ページ	157P (60分)	130-133	2009/10/14 00:27:03

るー ☆☆☆☆	この本はとても常識外れなことばかりが書かれていて、とても強い印象を受ける。活字が少なめで、イラストや写真も多いので読書嫌いな自分にもとても読みやすかった。			
	1-157	157P (60分)	118-125	2009/10/11 01:20:11

Got's ☆☆☆☆☆	『この本は「常識はずれな行動」の重要性を説明している。』 冒頭にそうかかっているこの本は、人によっては人生の教科書となろう本である。肌触りの良い表紙に触れながらこの本を開くと、センスの良い挿絵とともに人生の教訓をご教授してもらえる。そのひとつひとつが喉の渇きを癒すようにスーッと吸収されていく。活字は少なめであるが、得るものは多い。 基本的に自分の人生論と合致していたので、非常に読み進めやすかった。ぜひ夜中独りで、JAZZでも聞きながら、ゆっくりと味わっていただきたい。			
	1-160	160P (60分)	1-160	2009/10/09 04:38:32

[TOP](#)へ



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

アイディアのちから			
著者名	チップ・ハースダン・ハース	発行年	2008年
出版社名	日経BP社	ページ数	342ページ
値段	1,600円	ISBN	4-822246884
コメント	なんて、やる気の感じられないタイトル。よっぽど内容に自信があるのかしらん。 単純明快、意外性、具体的、信頼性、感情に訴える、物語性、ぜんぶで六つですよ、みなさん、覚えましたか？ Simple Unexpected Concrete Credible Emotional Story——頭文字をつなげると、ほうら。 いや、覚えるほどのこともないあたりまえの要素。でも、これでもかと挙げられる事例のおもしろさに、つつい読みふけてしまいます。 153ページ「茶色い目、青い目」の実践例が心にしみました。 なんで数学の勉強しなくちゃならないの、と塾で生徒に訊かれても困らないようになりたければ260ページヘGO！		

読者投稿欄				
ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ten ☆☆☆☆	プレゼン苦手な自分としては、ナルホドナーの連続でした。 頭では「S U C C E S」、大事なことはわかるのですが、いざ実践となるとなかなか難しい——というのは後期の授業で実感しました。 ただ、時間が無かったからかもしれませんが、授業でのピックアップの仕方はいくつかの項目に関しては誤解を生みかねない感じを受けました。「単純明快である」なんかは特に。 実際に本を読んでもみると、新たな発見があるかも。			
	全部	342P (180分)	S U C C E Sのうち、自分の苦手だと思うところを。	2010/02/15 03:34:20
うろくた ☆☆☆	授業で扱った本。 アメリカ人が書きそうな本だと思った。非常にアメリカらしくて読んでて安心する。 言葉は所詮媒体に過ぎず、選び方で伝わり方も幾千通りに変わるということをよく示してくれる本です。 サメ 鹿 の例は個人的にお気に入り。 ただ、面白い本だとは思うけれど、そんなに、そんなに面白いなあと僕は思った。わりとありがちな内容だと思う。			
	ところどころ	100P (40分)	341-	2010/02/15 02:45:31
	バラバラとどうでもいい所は省きながら読んでいた。授業を受けた後だったのが良かったのか、サクサク読めました。以前読んだディールカーネギーの「話し方入門」という本と内容が似ている部分もあったので、それも読みやすさの要因だったのかな？と。			

Got's ☆☆☆☆	やはり、本当に伝えたい事があって、それをベースにスピーチの仕方を考えていかないと、何を伝えたいのかわからなくなってしまうというのが、本当にその通りだと思った。 自分的にはアイデアクリニックと手引きがお勧めです。この手の本には内容をフィードバックするためのまとめが用意されているのが嬉しいですね。			
	すべて	349P (120分)	341-	2010/02/15 01:10:48
@ ☆☆☆	話題の本、ということで読み始めました。 今のところ、確かに大事なことが書いてあるな、と感じてはいますが、正直「アイデア・クリニック」以外のところはだらだら書いてある感が否めないです。訳が悪いのか？ そこらへんもSUCCEssしてもらいたいところです。 でも続きは気になります。これを読んだらほんとにプレゼンうまくなるのかな？			
	最初～130ページまで	130P (180分)		2010/02/15 01:00:33
ねりな ☆☆☆☆	人の本能を理屈で説明するとこういうふうな方法論になるのだなあ。 もっとも記憶に残る言葉とは、好きな人に言われた言葉だと思うけど、一般化は難しい？			
	8-88,322-349	109P (120分)		2010/02/14 22:53:03
Mikey ☆☆	授業の方がわかりやすかったです。 succesをそろえるのは思ったより難しくて、いろんなものが関けるような柔軟な頭になりたいと思いました。			
	8-37	30P (30分)	最初	2010/02/14 21:12:49
ざわ ☆☆☆☆	数学の勉強する理由…かなり期待していたので、ちょっと残念。笑 家庭教師先の子に同じようなことを聞かれ、説明しましたが、彼女はなかなか納得してくれませんでした。次こそ、納得してもらえるように、上手な話を考えていきます！ この本や講義を通して、人に伝えるための重要な要素をいろいろ学びましたが、私には実際にやっていく「演習」が必要だなとしみじみ感じました。			
	序章、アイディアクリニック、終章	91P (90分)		2010/02/14 21:07:32
黒鳥 ☆☆☆☆	後期はプレゼンが多かった……。なんかうまくってんだか良く分かりません。 でも、やり終えて気付いたのがSUCCEsのどれも欠けてはいけないうってことかな。 私の場合、“単純明快”“意外性のある”“感情に訴えかける”（読んだところ）ってのを盛り込むことに力を注ぎすぎて、「具体性」や「信頼性」が欠けていた気がする。 この本を読むときは意外と「え！？こんなの必要あるの？？」って思う要素について読んだほうがいいのかも（→私の場合はそれが信頼性とか具体性だったのかな） 要は興味をそられない要素のほうが、自分のプレゼンには不足しがちだから、意識するために読みましょうってことです。 重要な気がします！！			
	90-135 226-276	92P (90分)		2010/02/14 11:56:57
とんべい ☆☆☆	そうですか。SUCCEssですか。プレゼンに必要なのは。 この授業でそれなりにプレゼンしてみたけど、あんまりうまくできませんでした。 提案にアイディアという色をつけよう！実践しよう！			
	序章	30P (50分)	序章	2010/02/13 14:34:39
gpx ☆☆☆	例がほとんどでわかりやすいです。 授業でも取り上げてもらったので、理解しやすかった。			

	8-37	30P (50分)	27-32	2010/02/13 08:34:48
あ、あめふと2号 ☆☆☆☆☆	人の記憶に残るものと残らないもの、一つ一つが具体的でとても面白かった。宣伝などにもかなり使えそう。			
	全部	342P (200分)		2010/02/11 13:57:19
trick ☆☆☆	あまりにもみんなが絶賛するので読んでみた。 …が。そこまで絶賛するほどのものでもないような…私だけか？ 全部読むと良いのかと思い頑張って全部読んだけど微妙。 わりと当たり前のことを説得力ありげに語る本が苦手な人は無理かも。序章で面白くなかったらそこでやめた方がいいかも。			
	全部	342P (140分)	序章	2010/02/01 02:07:47
アメフト4号 ☆☆☆☆	記憶に残す方法などが書かれている。 時間がなくてあまり読めなかったが、時間があるときに最初から最後まで全部読みたいと思う。			
	8-37	30P (40分)		2010/02/01 01:54:13
BLUE BLOOD ☆☆☆☆	アイデアを魅力アップする方法が言葉でとらえられて参考になりました。 しかも頭文字がSUCCEssなのがすてきです。			
	37-136	100P (70分)	前半	2010/01/30 21:58:39
M I A ! ☆☆☆☆	授業での解説も含め、なるほどと納得しました。 キャッチコピーなどの残る言葉のインパクトのすごさや同じ内容でも使う言葉などで人々の記憶に焼きつくか否か全く変わってしまうことは今後、プレゼンをやる度に意識するようにします。			
	1-116	116P (60分)		2010/01/28 00:02:11
だいすけもん ☆☆☆☆☆	人の記憶に焼きつくアイデア、SUCCEss、とてもわかりやすかったです。 また、本書もそれを意識して実践していたのがわかったので、ちょっと笑えました。			
	8-37、322-349	58P (60分)	プロローグ、エピローグ	2010/01/26 12:01:33
アメフト3号 ☆☆☆☆	最初の方しか読んでいないが、相手の記憶に残るようなインパクトのある情報の伝え方じゃないといけない（ポップコーンの例とかみたいな）という事が実例を取り上げながら書いてあるのが、分かりやすくてよかった。			
	8-32	25P (20分)	特になし	2010/01/22 13:53:30
りょへ ☆☆☆☆☆	みなさんが書いている通り、言いたいことのまとめはプロローグに書いてあるなァー、と思いました。 理系であるというだけ、物を作ったり発明したりするだけではいけないと思わせてくれる一冊です。 僕が歴史方法論の授業でプレゼンが下手なのはこのせいかな。 ぜひこれから脳みそにSUCCEssというキーワードをインプットしてプレゼンに望みたいと思います。 一番話として面白かったのは井深さんのお話。やっぱ井深さんは偉大です。			
	全部	342P (300分)	序章	2010/01/21 23:15:10
	自分はもともと考えやアイデアがどのように生まれるかということには興味があった。特に浪人中			

ソロコフ ☆☆☆☆	は「なんでこの先生の説明はわかりやすいんだろう」とか「人の話を聞いたとき、どういうことに自分は反応するのだろうか、その理由は何なのか」ということをよく考えたりしていた。自分が考えてきたことは自分の理解の仕組みについてだが、それはこの本の内容ととても似ていた。だからこの本を読んだとき新鮮さはあまりなかった。しかし少し知っていたからこそ135ページも読んでしまった。正直数ページ読んで20冊達成しようと思っていたからだ、、また「意外性」という観点からではこの本の内容よりも 1950年代の「メイド・イン・ジャパン」は粗悪品の代名詞だった（132ページ） というくだりが妙に記憶に残ってしまった。		
	1-135ページ	135P (120分)	2010/01/19 10:30:52

まじ ☆☆☆☆	プレゼンを始め様々な場面で本当に役立ちそうで良本と呼ぶにふさわしい本ですね。 この本を読んでいてある世界的サッカープレイヤーの名言を思い出しました。 彼はあるときドーピング疑惑をかけられ、それに対しこう答えました。 「俺がやったドーピングは、努力だけだ！！」 う〜ん、かっていい！ハイセンス！ハイセンス！ 記憶に焼きついてます。マラドーナさん。あなたがドーピングしまくりだったっていう事実と一緒に		
	1-36,322-349	64P (50分)	2010/01/17 14:03:57

#30 ☆☆☆☆☆	これが本当のアイデアなのかと。 本当に記憶に残るアイデアは身震いするほど素晴らしい。本書に出てくる様々な例を通して、それがものすごく実感できた。 そして、この本自体がそれを体現しちゃっているというスゴさ。内容のほとんどが記憶に焼き付いていることに、読み終わってから気づく。 これをすぐに実践することは難しそうだが、プレゼンテーションに対する考え方が大きく変わる一冊。		
	全部	342P (300分)	2010/01/12 12:20:47

TD ☆☆☆☆☆	読んでよかった。アイデアを世に広めることに成功したエピソードはどれもエキサイティングで、時間を忘れて読んでしまった。ただ、同じような話の繰り返しがあるため、途中で少々胸やけがしたのが残念だった。それを込みにしても、自分で購入しようかと思うくらいいい本だった。		
	全部	342P (200分)	全部 2010/01/01 13:59:00

hana ☆☆☆☆☆	記憶に焼きつくアイデアを生み出す方法を、実際にその方法を使って解説してくれている本だと思います。 創造性とは、ふってわいてくるようなものではなく、むしろ緻密に構築していくことによって生み出されているものなのかもしれません。 なんとなくやるのではなく、本書に書かれている6つのことをちょっと意識するだけで、ぐっと効果的なプレゼンができるような気がします。 最後の「手引き」も、かなり使えそうです。		
	全部	342P (320分)	153-156 2009/12/22 11:40:11

ぶるー ☆☆☆☆☆	授業でコメトを見て、なるほど序章を読めばいいのか、と。さっそく読んでみました。 確かに序章に言いたいことは全部書いてありました。そこからはさらに細かくいろいろな実験結果と共にさらに詳しく6つの要素の内容が書いてある感じ。 一応理系をやっている身としては、思いついたアイデアを誰かに伝えるというのもとても大切なことの一つだと思っているので、すごく勉強になる本でした。 実践にうつせるように、頑張りたい！		
	始め-p37,p185-224	76P (120分)	p222-224 2009/12/15 02:33:42

序章だけ読んでもいいがそれだとsuccesの一言しか頭に残らないので余力のある人は他の章も読むことをお勧めする。逆ピラミッド構造とか土星の輪の謎とか更なるキーワードや面白いエピソード			
---	--	--	--

puzdog ☆☆☆☆	が発見できるかも。 succes…知識としては覚えやすいけど実践で使いこなせるかは別の話。			2009/12/08 12:11:43
	1-100	100P (100分)		
ぶりぶり ☆☆☆☆☆	記憶に焼き付くアイデアの六原則を例を用いてわかりやすく説明されていてとても面白い。目次がしっかりとっていて目次の気になるところだけをつまみ出して読めるので濫読におすすめ。			2009/12/01 13:02:57
	8-37	30P (20分)		
肉 ☆☆☆☆☆	伝えるためのポイントがつまってる1冊！ 内容もわかりやすく、序章を読めば言いたいことはわかるっぽい。 読むのに時間がかかったので途中でやめたが、時間ができたら残りも読みたい。			2009/11/14 10:41:39
	8-135	128P (120分)	目次	
トム ☆☆☆☆☆	都市伝説などは一度聞いたら忘れることができない・・・ このような話(アイディア)はどのような特徴を持っているのだろうか。それがわかれば、自分たちのアイディアをもっと持続力のあるものにできるはずである。 そのために注意すべきことをこの本は教えてくれる。個人的には119ページからの「知識の隙間理論」はなるほどと思った。			2009/11/04 00:49:57
	8-224	216P (180分)	119-135	
harry ☆☆☆☆☆	時間がなかったので序章だけ読んでみた。 例が具体的で、かなりわかりやすい。さすが「記憶に残る話」について研究している著者だけあるなという感じである。 序章だけでおいしいところは全部読み切れた気がする。立ち読みにもおすすめ。			2009/10/20 01:00:11
	8-37ページ	30P (25分)	27 - 32ページ	

[TOP](#) 



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

ギャシュリークラムのちびっ子たち

著者名	エドワード・ゴーリー	発行年	2000年
出版社名	河出書房新社	ページ数	54ページ
値段	1,000円	ISBN	4-309264332
コメント	おとなの絵本は こわくて かなしい		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
つきもち ☆☆☆	こわい・・・ただその一言。 絵本といえば愉快的なキャラクターが出てきてワイワイするイメージだが、まったく正反対で読み終わってなんか悲しくなった。			
	ぜんぶ	54P (15分)	さらさらーっと	2010/02/12 03:33:43
名無し ☆☆☆☆	これはどういうテンションで読むのが正解なのでしょう… ツッコミ待ちなのか、何か深く考えさせたいのか。使い方のよく分からない本である。 しかし絵とか短い文章がぼんって載ってるだけのあの感じは好き。内容がイミフ。			
	全部	54P (10分)		2010/02/11 03:04:39
iwatobi-penguin ☆☆☆☆	絵が怖い。こういう本大好きです。読んでも時はブラックジョークとして受け入れていましたが、実際笑いごとの内容ではないですね。でも面白いです。			
	1-54	54P (10分)		2010/02/06 22:29:51
BLUE BLOOD ☆☆☆	訳が東大の柴田元幸さんなのひかれた。内容はよくわからない。 訳をつけるのも大変だっただろう。			
	全部	54P (30分)		2010/01/30 18:35:14
march ☆☆☆☆	一見、なんか、コメントに困る本。だけど、声に出して読んでみると、単語のセレクトが読みやすいようにできている。子供でも文章がずっと入っていけるようになっていいると思う。けど、やっぱり大人の本？			

	全部	54P (20分)	なし	2010/01/29 10:55:39
アメフト3号 ☆☆☆	この絵本は、奇妙でつかみどころのない絵本でした。読み終わって 結局何を伝えたかったのかがいまいピンとこないのは僕だけでしょうか？			
	全部	54P (5分)	特になし	2010/01/22 13:55:12
りょへ ☆☆☆☆	こどもたちが死んでいく、滑稽な死に方もする、残酷な死に方もする。 さくさくと読めてしまう我々も問題なのか？			
	全部	54P (5分)	英文	2010/01/21 22:41:27
ぷりぷり ☆☆☆☆	テンポよく子供たちに残念なことが起こっていく本なのですが、それゆえちょっとしたところに つっこみたくなる。特にE,G,Zにはちょいちょおーい！とつっこんでしまうと思う。 すばすば読むと2分どころか秒殺だろう。			
	全部	54P (2分)		2010/01/18 20:49:28
ムーディーかまやつ ☆☆☆☆	久米田康治を読んでもいけばまず間違いなく既に読んでいるはずなので（僕は地方にいた時、はるばる 隣県までこの本を探しに行きました）、そのような言及がないところを見ると皆さん久米田作品 を読まないんだあと、ソコがショッキング！ 別に現代社会を批評するツールとしてコレを使ってもいいですけど、まあそれは無粋というもの。 笑わなきゃ嘘です。みなで大笑いしましょう。 あと、授業終了間際なので、冊数が足りないという方へ… この本、YouTubeで見れますぜ、旦那。ウヒヒヒヒ…			
	全部	54P (6分)		2010/01/12 03:17:50
harry ☆☆☆☆	自殺ウサギの本と同じにおいを感じた。			
	全部	54P (3分)		2010/01/09 13:00:40
blue ☆☆☆☆	ちびっ子たちは無表情だけどなんとも印象に残る。バックの壁の感じはなんとも不気味ではあるけど、 そのいやな感じがいい。 ちびっ子と恐ろしく不幸な運命ってあんまり考えたくないけど、すごく印象に残ります。			
	全部	54P (30分)		2010/01/06 12:45:14
肉 ☆☆☆	絵はたしかに不気味だった。 ただ文章はテンポよく進むので、怖いという印象は受けなかった。 自分的には文をもうちょい長くしてほしかったかな、と。			
	全部	54P (10分)		2009/12/21 22:42:11
Mikey ☆☆☆	悪意に満ちてる感じがした。			
	全部	54P (10分)		2009/12/15 09:12:28
ぶるー ☆☆☆☆	え…怖い… ページをめくっていくごとに、どんどん気持ちが悪くなる。 読み終わったあとは、もう、↓↓↓って感じ。 子供たちの表情がないのも怖い。 読み終わって、表紙の絵の意味を理解しました。			

	全部	54P (10分)	最初っから順に読んでいくと…	2009/12/15 02:38:17
まじ ☆☆☆	毎ページ毎ページドキッとさせられた気がする。日本語訳のリズムは軽快なのに内容は恐ろしいところが気が変になるような感覚を受ける。背景にくらべ子供がやけに小さいのも嫌でした。			
	54	54P (10分)		2009/12/08 09:21:23
ソロコフ ☆☆☆	絵が不気味でした、そういう不気味な世界観は体験したことはありませんでした。ある程度勢いを持って読むのがいいと思います。			
	全部	54P (10分)		2009/12/06 22:45:30
NIKI ☆☆☆	絵本といえば、可愛くて心暖まる感じなのに、この絵本は逆に読む度にぞっとした。世界観は独特で面白いと思うが、さすがにこれは怖い・・・。			
	全部	54P (10分)		2009/12/01 23:25:43
Whatever ☆☆☆	押韻にのせてサクサクと死んでいく子供たち。 素敵な挿絵と共に、世界一虚しいアルファベットの歌を。			
	全部	54P (5分)		2009/11/17 23:50:34
Got's ☆☆☆	ここまでコメントに困った本はありませんでした。 韻を楽しもうと音読してみたんですが、どんどんふさぎこんでいきました。こういう本を書く人もいるんだなあと・・・ こういう普段は絶対に読まない本と出合えるのも、この授業のおかげだと思います。			
	全部	54P (10分)		2009/11/10 23:49:28
gpx ☆☆☆	いろいろな死に方、苦しみ方がわかった。 一瞬で死ねた子の方が楽だと思う。			
	全部	54P (10分)	全部	2009/11/10 00:29:29
ぴよ彦 ☆☆☆	名前の頭文字がA～Zの26人の子供たちの悲惨な死に様を書いた「だけ」の絵本で、好き嫌いが分かれると思う。正直、私には何をどう楽しむべき本なのかよくわからなかった。ただ、中には悲惨と言うより滑稽な死に方もあり、クスッときた。			
	54	54P (10分)	全部	2009/11/08 11:18:11
trick ☆☆☆☆☆	N is Neville who died for ennui. 韻を心地よくした結果日本語だと生きていそうな文がいくつかありますが、英語だとしっかり死んでいます。 線路で死んだのに「轢死」でなく「圧死」ってどんな死に方なんだろう…と想像が広がります。多分正しい楽しみ方。			
	all	54P (20分)	27-28	2009/10/30 15:15:15
hana ☆☆☆☆	表紙にいた26人のこどもたちが、本のページをめくっていくと次々に悲惨な運命に出会い、裏表紙では26の墓標になってしまう。そしてあのにたと笑っていた死神(?)もいなくなっている… 子どもたちを襲う暗い世界の連続に「なんで?なんで?」と思ってしまうのですが、もしかしたら私たちはこうした運命と常に隣り合わせなのかもしれません。			

	全部	54P (10分)	全部	2009/10/28 08:36:17
M I A ! ☆☆☆	初めて読む大人の絵本にドキドキしました。 これがブラックユーモアというものなのかぁ…。 でも全員死ぬのは衝撃です。			
	1-54	54P (5分)		2009/10/21 00:38:46
puzdog ☆☆☆	絵本といえども侮ることなかれ。 まず絵本なのにハッピーエンドにならない。次に英文、和訳の響き。そしてイラスト。 ただストーリー性がないのがさびしい。 「怖い絵」と一緒に読みましょう。			
	すべて	54P (5分)		2009/10/20 19:11:03
くま ☆☆☆☆☆	この人の作品見てみたかったので、わくわくしながら読んでみた。やはり面白いですな。え？不謹慎だって？			
	すべて	54P (5分)	全部	2009/10/20 17:10:30
ざわ ☆☆☆☆	英語も日本語も上手く韻を踏んでて…という点もあるのかもしれないけど、私はその文に合った怖くて冷やかな絵がなによりも印象に残ります。			
	全部	54P (5分)		2009/10/18 23:58:32
T A K E 2 G U ☆☆☆☆	濫読どころか、5分あれば読み終えてしまう本(というか、絵本) 悲壮感漂わせるイラストがGOOD 英語も、声に出して読んでみると、内容は悲惨なのに、リズムがよく楽しくなってしまう 冊数を稼ぎたい人は必読!!			
	全部	54P (5分)	どこを読んでもOK	2009/10/17 08:14:51
くらしく ☆☆☆☆☆	お勧め度☆5つですが、生真面目な人にはあまりお勧めできません。 リズムの良い英語・日本語訳に載せて、子供が悲惨な目に会う。そこには因果も論理もなく。 これだけだとただの惨い本ですが、本当にただ惨い本です。 しかし、そこには得体の知れない魅力、あとがきどおり場違いな滑稽さがあります。 その正体が一体なんなのかわかりません。 こわくてかなしい、とありますが怖いとも悲しいとも違った別の何かを覚えました。 不思議な世界観に病みつきです。			
	全部	54P (10分)	全部	2009/10/16 01:57:05
@ ☆☆☆	よく26個も思いつくものです… 英語も、日本語訳も、韻の踏み方がよかったと思います。 子どもたちの表情は、断末魔、というものは少なく、ほとんどが無表情、あるいはこれから起こることを何も知らないような感じのものが多く、それが余計にかなしさを引き立てているようです。			
	全部	54P (5分)	V	2009/10/11 22:46:10
フィクサー ☆☆☆☆	好き嫌いがわかれるかも知れませんが、自分はとても気に入りました。どの子供も目が完全に死んだ魚のようで、絵のタッチはくらくて、内容もひたすら救いがなくて。でもたまに出てくる「これは無理やりすぎでしょ!」なんて感じるシーンが妙にツボに入って吹き出しそうになったり、完全にエドワード・ゴーリーにしかできない世界観だと思います。時間がかかる本ではないし、難しいことを考えたり深読みしないで、さっと一氣に読んでしまえば楽しめる人は多いと思います。自分は好きです、ギャジュリークラムのちびっ子たち。			



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

山口晃作品集			
著者名	山口 晃	発行年	2004年
出版社名	東京大学出版会	ページ数	80ページ
値段	2,800円	ISBN	4-130831003
コメント	ルーペしおりは飾りじゃない！ こまかく緻密に組み立てられた「もうひとつのニッポン」。 古いような新しいような、現実のような絵空事のような。しばしの時空散歩をどうぞ。		

読者投稿欄				
ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ten ☆☆☆☆☆	信じられないくらい絵がうまいのは勿論、テーマから細部に至るまでのユーモアの仕込み方にも脱帽。 授業で扱った際には、自分が思いもよらなかったところに注目している人がいて面白かったです。			
	全部	80P (30分)		2010/02/15 03:36:55
Got's ☆☆☆☆	授業でみた通り、今の時代と昔とが混在した世界を見ておもしろいなあと。少年ジャンプの「銀魂」という漫画を思い出してしまったのはじぶんだけですか？			
	全部パラバラと	80P (0分)		2010/02/15 00:17:03
くらしく ☆☆☆☆	絵の面白さもさることながら、絵描きの割に喋ることのほうが好きそう、この人。 「ビルやオートバイも自然の一部かもね」という言葉も自分もよく考えるし、よく議論されるテーマだが、こういう絵で表現されるとまた別の視点が生まれそう。			
	全部	80P (20分)	40ページ	2010/02/14 22:26:20
#30 ☆☆☆☆☆	こういう絵好き。 自らで一つ一つの世界や町を構築していて、描いているとき楽しかっただろうなと思う。 時間があったら隅から隅まで見てみたい。			
	全部	80P (30分)		2010/02/14 09:33:41
えむぼま	細かいところまで突っ込みどころ満載の絵でした。 ルーペを使ってみてるとなんか子供の頃よくやった「ウォーリーを探せ」を思い出します（笑）。			

☆☆☆☆	あ！ウォーリー（サンタさん）45ページにて発見！			
	全部	80P (20分)		2010/02/13 16:31:22
名無し ☆☆☆☆	細かすぎて伝わらない…ぱっと見では。じっくり見るとおもしろいんだけど、疲れる。細かいからな。だから大半はぱらっと見ただけです。何を隠そう、立ち読みですから。			
	全部	80P (30分)		2010/02/11 02:46:17
とんべい ☆☆☆	ぱっと見、歴史絵図なのによく見ると現代的な遊び心が！ まあ、授業で扱ったとおりですね。 こーゆー創造性と絵心があれば建築とか空間系に行ってたのに（涙）			
	全部	80P (60分)	好きな絵を	2010/02/10 13:38:21
つきもち ☆☆☆☆☆	将来こんなテーマパークができそうだな・・・っておもいました。 個人的に24ページの温泉街がすごく好きです。空間の人しかわからないけど、斎藤先生の「隠れ場眺望理論」がすごい感じられました。			
	ぜんぶ	80P (20分)	表紙	2010/02/03 12:51:07
march ☆☆☆☆	一見違和感のない絵だけど、よくみるとむちゃくちゃ。過去と現在が入り乱れているのに、全体として違和感のないようにまとめている作者はすごい。しかも、あちこちに小ネタがちりばめてあって面白かったです。			
	1-80	80P (20分)	35	2010/02/01 14:16:19
りょへ ☆☆☆☆	本の説明は他の人がしてくれた通りだと思います。 確かによくこんな発想をしてこんなにも調和させて描けるなど感動しますが、ちょっとどーもウケ狙いを感じてしまってやりすぎかなーと思ったりもしました。がしかし、やはり絵には細かいニュアンスが表れていて、単純に絵画集と見るならばアリなのかな、とも思います。			
	いろいろ	30P (5分)		2010/01/27 02:28:22
びよ彦 ☆☆☆	一見すると歴史の教科書によく載っているような普通の合戦の絵だけど、よく見るとサラリーマンがいたりバイクや軽トラが走ったり…。全く違う時代のものを違和感なく同居させる技術は素直に感心しました。 ただこれが芸術として優れてるかとか聞かれるとちょっと微妙。それに似たような絵がおおいから全部見ようとすると飽きるかも。			
	1-51	51P (20分)		2010/01/22 13:57:14
うろくた ☆☆	ルーペを飾りとして読んでしまった人の感想です。 たまに、自分では何が凄いかわからないが、世間ではなぜか評価されている物を見ると、論理性・客観性と主観性の兼ね合いの限界を感じる。 他の人のレビューがみんな楽しそうに読んで驚いた。 興味が沸くか沸かないかでこうも違うものか。 この講義を受講しなければ、多くの人にとって、人生において『関わるはずのない本』だろうと思うので、軽く見てみるのも悪くないと思う。			
	1-80p	80P (20分)		2010/01/21 15:39:20

まじ ☆☆☆☆	ぱっと見普通の絵が次の瞬間、ありゃ！？ってかんじ。 そんで、あれ！？あれ？あれ？あれ？ってなってくうちに自然と絵の恐るべき緻密さを認識させられて「この絵ヤバ！」ってなる。 この感じクセになります。しかも飽きが来ない。 よくできた仕掛けでした。			
	全部	80P (50分)		2010/01/18 22:06:16
黒鳥 ☆☆☆☆	注) 必ずルーペを使いましょう。 びっくりしました。 この本を絵本として小さい子供に与えたら、1年は持つでしょうね。。まず飽きない 個人的にp.42が特に好きです。 植物が機械でできているなんて！！とても不思議な描写です。 恐怖さえ感じるような、変な感覚にさせられるページです。 42ですよ。42！！			
	1-80	80P (45分)	40-43 , 54-60	2010/01/14 16:29:52
PO ☆☆☆☆	シュールというかなんというか… 細かいネタを探すのがおもしろい			
	全部	80P (30分)		2010/01/11 22:47:47
puzdog ☆☆☆☆☆	昔の景色に現代をうまくすべりこませる作者のバランス感覚に驚嘆するばかり。その絶妙な感覚のおかげで、絵に違和感がないのがすごい。一人一人にそれぞれのストーリーが感じられて、そのストーリーを読み解くのがまた楽しい。 実際にまちあるきしたら楽しそうだけど絶対に道に迷うと思う。絵でみるのがちょうどいいのかも。 個人的にはメカニカルシリーズや見立てシリーズもお気に入り。			
	全部	80P (60分)	最初らへん	2009/12/22 11:38:59
ソロコフ ☆☆☆	最初はなんだこれって感じでしたがぼーっと眺めていると細かな仕掛けが面白くなってきたような気がします。「ウォーリーを探せ」をやっているような気分になりました。			
	全部	80P (20分)		2009/12/21 10:07:25
BLUE BLOOD ☆☆☆☆☆	どうせ歴史の画集だろ？とかいってなめないでください。 ルーペを手にしたとたんあなたは山口ワールドに引き込まれますから。			
	1-80 -	88P (50分)		2009/12/15 12:23:10
M I A ! ☆☆☆☆	細かい絵を見るのが好きな人はとても楽しいと思います。 特に三越のデパートは見ていて飽きませんでした。 昔の絵の中に現在をうまく取り入れているところが斬新で面白かったです。			
	全部	80P (20分)		2009/12/13 23:33:30
NIKI ☆☆☆☆☆	大和絵に機械的なものとか現代ものとかが混ざっていて、本来なら違和感を感じそうなのに、違和感どころかすごいしっくりとはまっていて、私もこの世界に混ざってみたいと、とても惹かれました。タイムスリップした気分です。戦場に出前が来たり、普通のサラリーマンがいたり、人間の一人一人や小さな小道具までが細かく描かれていて、その一つ一つを見るのがすごい楽しかったです。			

	全部	80P (30分)		2009/12/01 10:23:10
@ ☆☆☆	繊細ですね。過去と現代が入り乱れていて、それを不自然に感じさせないところがすごいな、と思いました。もちろん、ギャグもあり… 立ち読みポイントに挙げたところは、ルーペで読んでもつらい、ほど細かい、〇〇〇です。何かは、読んでの楽しみです。			
	全部	80P (30分)	3ページ	2009/11/27 22:54:57
hana ☆☆☆☆☆	マンガ的要素アリ、「ウォーリーをさがせ」的要素アリ… よく見るとあれっ？とかくすっと笑ってしまうことが散りばめられています。 一見真剣な合戦かと思いきや、出前とってる兵士がいたり、後方ではＡＶ観てたり、雲の上にはルーズソックスの女子高生!!?…………でもそれがかえて生き生きとした人間像を描いてるんですね。 しかも彼のすごさはそのユニークさだけではない。ページをめくるたびにこれでもかこれでもかとその緻密さを見せつけられました。いくら眺めてみても気づいてないことあるんじゃないかってくらいに丁寧に構成されています。 字もすてきです。絵みたいです。 これはぜひ、ルーペの力では及ばないところまで、本物をゆっくり眺めなくてはいけない!!と思いました。			
	全部	80P (60分)	どこでも	2009/11/16 21:20:01
くま ☆☆☆	ルーペは飾りでした。そもそもルーペに気づかずパラパラ読んだだけです。			
	全部	80P (10分)		2009/10/26 00:38:36
trick ☆☆☆☆☆	あるものを咀嚼して再構築することの難しさを少しでも実感したことのある人なら感動できるはず。 良いほめ言葉が見つからないけれど、いい意味での贋作。してやられた感がたまらない。 31ページには「地上デジタル放送成る」というタイトルのイラストがあるけれど、電波を受信した側の大画面液晶には「イ」の文字。 テレビの日本初放送（試験放送）の際を真似てくるあたりは流石の一言。 もし日本が今日まで鎖国していたら？というようなパラレルな世界を垣間見られる。			
	1-80	80P (40分)	31、32、78	2009/10/07 04:50:15

[TOP](#) [^](#)



図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

Blue-中村祐介画集

著者名	中村祐介	発行年	2009年
出版社名	飛鳥新社	ページ数	176ページ
値段	3,800円	ISBN	4-870319226
コメント	いつまでも、夢をみていたいあなたに――		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ten ☆☆☆☆☆	買ったちゃったー（笑）まゝ元から欲しかったので、いいきっかけとおきます。同じようなモチーフの絵が多いながらも、ずっと眺めていても飽きの来ない美しさ。ただどうしても自分の中にブルーを見つけられなくて、後悔する限りです。			
	全部	176P (40分)		2010/02/15 03:44:11
#30 ☆☆☆☆	この手のイラストはたくさんあるはずなのに、なにかこの人は独特の空気がある気がする。一貫した世界観と繊細さが、見たときにその世界に引き込む感じ。			
	全部	176P (30分)		2010/02/14 09:30:15
gpx ☆☆☆	色遣いがとてもきれいです。絵が丁寧です。西洋画とは違って日本画っぽさを感じました。			
	全部	176P (60分)		2010/02/13 08:30:04
ソロコフ ☆☆☆	ストーリー性であるとか色がきれいだとかそういうものはなんとなくはわかるが、作者の考えと自分の感じたことがどこまで一致しているのか。画集は難しい、、、			
	全部	176P (30分)		2010/02/12 16:53:32
とんべい ☆☆☆	なんとも不思議な絵ですね。アジカンのジャケットで見たことがあるから馴染みあるけど、初めてそれを見たときは新鮮でしたね。			
	しかしその奥にある作家の考えとか意味してることはよくわかりません。			

	全部	176P (60分)	気に入ったところ	2010/02/12 14:22:17
名無し ☆☆☆☆☆	漫画の絵とかうまい人なら書けそうだなって思うんだけど、そこにストーリーを見せるのが独特…なのかな？漫画っぽい絵とかイラストだと芸術性がよくわからんのだが、見てて楽しい一冊。なんせカラーだし。			
	全部	176P (80分)	絵	2010/02/11 02:56:00
肉 ☆☆☆	きれいだなぁ、と思った。 色使いが良くて、自分にも書けたらなぁって。 ただ、最後の作者コメントを見た後、絵を見返したが、芸術家の言っていることはわかんね。			
	全部	176P (40分)	開いたところ	2010/02/07 10:52:12
BLUE BLOOD ☆☆☆☆☆	まず形が正方形で独特な本です。まあその意味は中を開ければわかります。やはりタッチと色の塗り方がとても横顔とのあいしょうが良いと思いました。ただで見れてよかった。			
	全部	176P (30分)		2010/01/30 20:50:07
jessy ☆☆☆	私が1番気に入ったのは68ページ！ こういう目がくりっとしたキャラクター好きw それにしても女の子のスカート短いでしょ～！			
	1-50	50P (25分)	どこでも	2010/01/28 10:30:25
Whatever ☆☆☆☆☆	アジカンのジャケット書いてる人の画集。 綺麗な線と色遣い、この独特の雰囲気に惹かれます。 主役となる少女の心情や妄想が溢れ出して、それは周囲の景色さえも巻き込んでゆく。 物は生物となり美しく形を変え、街は踊り音楽を奏で、浮遊していくような。 崩れてしまいそうな不安定な青春の繊細さ、そして大胆な自己主張、それらが1枚の絵に絶妙なバランスで存在している。 うーん、そんな感じですよ。			
	全部	176P (30分)	39、40	2010/01/25 17:53:23
黒鳥 ☆☆☆☆☆	この画集を「鑑賞する」人々へ。 この本を眺めた後、必ず「あとがき」を見るようにしてください！！ 中村祐介さんのあとがきはとても美しく、そして感動的です。 ブルー。この画集に込められた思いをくみ取った暁には必ずおさらいがしたくなるはず。。 ちなみに、私はこの画集に「青春」を見ました。 とても明快なタッチ、色遣いで描かれてはいるが、その内に孕んだ物は不安定さ、未熟さ、孤独・・・その反面あふれんばかりのエネルギーも感じることができる。 まさにそこには青春の時代があるのだ。			
	1-175	175P (30分)	78、127、165	2010/01/15 21:24:55
harry ☆☆☆☆☆	アジカンのジャケットとか「夜は短し歩けよ乙女」とかは知ってたけど、スピッツまで手を出してたとは… 指先の曲線がピンポイントで好きです。 平面的なのに広がりのある世界観。 好きです。好きです。大事なことなので二回言いました。			
	全部	176P (20分)		2010/01/09 12:53:17

NIKI ☆☆☆☆	なんともいえない女の子の表情が好きです。満面の笑みではないんだけど、ちょっと口を尖らせて目は先を見ていて、でもなんかちょっと幸せそうなその表情に心暖まりました。 絵の色合いもとても素敵でした。私は、女の子どうしの絵が好きで58ページの全然普通のありきたりな風景なんだけど、逆にその普通さが気に入りました。			
	全部	176P (30分)	58ページ	2009/12/01 23:37:27

つきもち ☆☆☆☆☆	アジカン好きにはおなじみの絵ばかりで気づけば一時間経過・・・ まともな感想は「色の使い方が上手くて幻想的な絵で面白い」 率直な感想は「女の子がかわいすぎる。東工大にもこれくらい女の子がいたらなあ・・・」 一番のおすすめはP127！！ほんとに待ち受けにしたいと思った。			
	ぜんぶ	176P (60分)	78,83,98,124,127,	2009/12/01 16:54:06

ざわ ☆☆☆	ああ、かわいいなあ、と思うばかりでした。 あと、きれいな色使いが私は好きです。 塗り絵がしたくなりました！笑			
	全部	176P (30分)		2009/11/23 23:38:02

M I A ! ☆☆☆☆☆	ページを捲っていく度にどんどんBlueの世界に引き込まれていきました。 細部にまで作者の究極のこだわりが感じられ、注意深く見れば見るほど興味深い画集でした。 特に、84ページの女の子の足元のピアノの鍵盤の下がり具合がたまらない。 女の子の足の組み方が可愛かったです。			
	1-176	176P (20分)	84ページ	2009/10/31 23:32:01

@ ☆☆☆☆	思わずアジカン聴きたくなりますね(笑) 絵の素敵さはもちろんですが、何とんでもこの画集に出てくる絵は、ほとんど全部に「少女」が登場しますね。 あとがきで作者も言ってますが、この年頃って「青い」んですね、色々な意味で。でも私にも「今」は「無色」に感じる気がするので、個人的にはあとがきにもグッときました。 この本読む人は、あとがきまでちゃんと読むこと！(笑)			
	全部	176P (30分)	041、090	2009/10/28 20:54:51

march ☆☆☆☆☆	どことなく幻想的で不思議な感じだけど、かなりリアルに現実をとらえているイラスト。タイトルどおりの青春の時間の経過。伝えたいことが素直に伝わってきます。			
	1-176	176P (60分)	175-176	2009/10/27 10:09:58

ぶるー ☆☆☆☆	本を開けばそこはもう別の世界。 ポップな色遣い、細かく描かれているんだけどどこかシンプルな、ストレートな気持ちが伝わってくる。 少女の表情がどこか切なくて、きっと青春ってこんな感じ？ かわいらしさ、甘酸っぱさ、セクシーさなどが満載でページを開くごとに胸がキュンとする、不思議な画集でした。			
	全部	176P (60分)	P18,19	2009/10/20 21:02:33

--	--	--	--	--

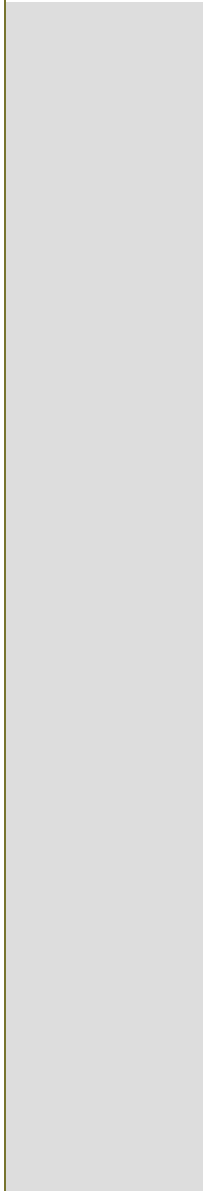
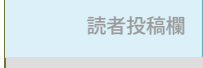
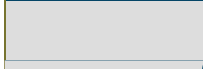
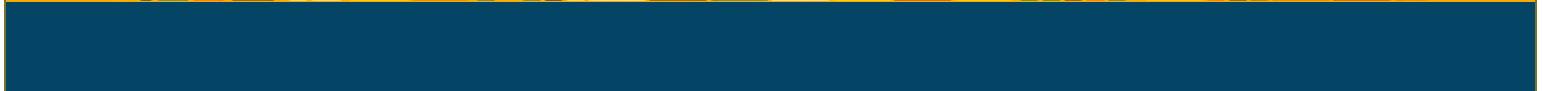
くらしく ☆☆☆☆	人間同士よりも動植物との方が触れ合っていて、妙な孤独感を感じた。 人間のリアルな他者との距離感が描かれている・・・・・・気がする。 アジカンの絵の人だ、と思って手を出したが、関係なくなる53ページあたりからの方が印象に残っている。			
	全部	176P (15分)	116ページ	2009/10/19 23:43:44

hana ☆☆☆☆☆	とってもきれいで、かわいくて、ロマンチックさもあって、ずっと眺めていたくなります。 それぞれの絵のモチーフや雰囲気は似ている気がするのに、全然飽きてきませんでした。 彼の世界に浸れます。			
	全部	176P (90分)	開いたページ	2009/10/18 21:30:58

りょへ ☆☆☆☆☆	中村さんのほぼすべての作品が入っているという画集。 それらは時系列によって並べられていて、大学時代の中村さん、現在の中村さんでまた違う味を出している。 後半は横を向いている人の姿がたくさん描かれていたり、風刺されていたりと見てて飽きない画集である。			
	家	176P (5分)	175 176	2009/10/14 00:12:58

trick ☆☆☆☆☆	ASIAN KUNG-FU GENERATIONのジャケ絵の人、というのが一般的な認知だと思う。あとは個人作品も多く含まれています。 線が少なく目が小さめに描かれるかわいい女の子たちですが正面と真横を向いているのが多いのが特徴。デジタルでフラットな塗りなのでデザイン的なイラスト。			
	1-176	176P (80分)	前半。	2009/10/07 04:13:11

[TOPへ](#)



チェーザレ 1～7

著者名	惣領冬実	発行年	2006年
出版社名	講談社	ページ数	100ページ
値段	743円	ISBN	4-063722015
コメント	チェーザレ・ボルジア。500年前のイタリアに現れた、とてつもなく規格はずれの風雲児。その若き日々。ピサの町を舞台に暴れまわる凛々しさにほれぼれ。 BL? と、と、と、とんでもない! 全ラインナップで唯一のコミック版です。コミックなので、全ページ読んでも、100ページまでしかカウントしないというルールで宜しく。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
NIKI ☆☆☆	チェーザレ・ボルジアという名前は聞いたことがあったので、読んでみたが、2巻だけではあまりわからなかった。機会があったら、続きを読んでみようと思う。メディチとか、パッツィとか美術史の授業で聞いたような気もしたので、その関係がわかったのはおもしろかった。			
	1、2巻	100P (40分)		2010/02/15 02:06:42
Got's ☆☆☆☆☆	手に取った時は「なんだただのBLか」と思ったけど、実際読んだらとても面白かった。そもそもルネサンスの時代は絵画にしる、彫刻にしるとても興味があるので、メディチ家と言われるだけで「おっ」と思ってしまう。ただ、読み終わって思ったのが「完結してねえじゃん!!」って事ですね。古本屋で見かけたら集めちゃうかもしれません。			
	7巻、全部	100P (240分)	全部	2010/02/15 00:13:51
Mikey ☆☆☆	BLっぽいし、人の名前が覚えられないし、正直読みやすくないです。7巻のチェーザレが質問するところを作者は1番書きたかったのかなと思います。地味に続きが気になります。漫画喫茶で見つけたときはちょっと笑いました。			
	1-7巻	100P (20分)	7巻のチェーザレが質問するところ	2010/02/14 21:19:07
@ ☆☆☆	何と言ったらよいのか…普通に面白かったです。私はチェーザレよりもミゲルが好きです。一番共感できるかも。			
	1、2巻	100P (30分)		2010/02/14 13:06:18

肉 ☆☆☆☆	読む前は、「超一つまんなそーだなあ」って思ってたんだけど、読んでみると、案外良かった。ハードルが下がっていたから？		
	1巻全部	100P (40分)	2010/02/10 19:21:38
つきもち ☆☆☆	人物がごちゃごちゃで読むの大変でした・・・ 世界史が好きな人にはお勧めでしょうがそれ以外にはあまりおすすめできません。		
	全部	100P (20分)	2010/02/05 16:17:53
BLUE BLOOD ☆☆☆☆	絵、時代考証など全体的によくできたマンガだと思うのに、知らなかった。歴史ものでも雰囲気だけのものと、これみたいな設定まで気を使ったものと読んだ感じはだいぶちがう。後者は義務教育中なら勉強的に読めたのに。		
	1巻	100P (30分)	2010/01/30 21:00:24
りょへ ☆☆	特におもしろいとは思えないが、なかなか自分が手にすることのない漫画だったのでいい経験になった。		
	1巻	100P (30分)	2010/01/27 01:52:07
うろくた ☆☆	まあ普通の漫画・・・。 もうあまり覚えていない。 イタリアの雰囲気や、この時代の雰囲気を味わうにはいいと思う		
	6巻	100P (30分)	2010/01/21 15:41:27
ぴよ彦 ☆☆☆☆	主人公格が美形過ぎて最初腐女子向けの漫画かと思いました。 世界史には疎いのでそもそもチェーザレが何をした人なのかもよく分かってませんが、時代背景や人物の説明も十分にあるので解りやすいです。一巻は大して話が進んでないので二巻以降も読んでみたいです。		
	一巻	100P (40分)	2010/01/18 14:25:12
黒鳥 ☆☆	正直な感想は「漫画ってこんな読むの疲れたっけ？」です。 多分、ミゲル様ファンが多いんだろうな～と読みながら思った。 が、面白さより読んだ直後の疲労感がすごかったもので・・・ 普段いかに絵ばっかのアホな漫画しか読んでいないかを痛感。読むとこ多いと疲れます。 読み進めれば絶対面白いんだろうなと思うので、時間があれば最終巻を今度読みたいと思います。		
	1～3巻	100P (90分)	Virtu 7 2010/01/14 16:03:14
harry ☆☆☆☆☆	時代背景、美術関係の描写、それも称賛に値するが・・・ チェーザレのイケメンっぷりに惚れました。		
	1巻のみ	100P (30分)	1巻38～52 2010/01/13 20:55:57
7巻ではカノッサの屈辱とダンテの神曲が描かれています。			

トム ☆☆☆	詳しい歴史的背景を知ると歴史って面白いんだなと感じさせてくれる本です。巻末の用語解説やコラムは勉強になります。 もう一回世界史勉強しなおそうかな、と思いました。			
	7巻	100P (80分)		2010/01/13 01:52:36
まじ ☆☆☆☆	一巻を読んだだけだが、このまま行くとBLになりかねないと思った。そういう意味でも続きは気になりました。 作者の伝えたいことはキリスト教の腐敗していた中世において芸術はどのようなものとして生み出され、評価されていたかということではないでしょうか。 当時の芸術の歴史的背景を知るには持ってこいの漫画でしょう。			
	一巻	100P (60分)		2009/12/26 01:09:00
march ☆☆☆☆	途中から読んだけど、前書きを読めば途中からでもなんとなく背景がわかると思う。とにかくストーリーを淡々と進めていた。先入観や作者の意図を受けにくく学べる漫画だと思った。			
	7巻全部	100P (60分)	なし	2009/12/19 14:28:03
#30 ☆☆☆☆	登場人物が魅力的で、その時代背景もある程度わかりやすく描かれているので、ほとんど予備知識がなくてもこの世界にすんなり入っていった。 より一層この時代を知ってみたいと思わせてくれる漫画だと思う。			
	1-3巻	100P (60分)		2009/12/07 15:24:40
hana ☆☆☆☆	中途半端な巻からのスタートでも、とても楽しめました。 派閥や人間関係中心のストーリーでしたが、登場する建造物や人物の服装など、絵がきれいで凝ってます。 美術史・美術理論の高岸先生によれば、美術的にも忠実に再現しているそうなので、安心して読める作品かなと思います。			
	3巻	100P (40分)		2009/12/02 21:25:30
M I A ! ☆☆☆	メディチ家全盛期のフィレンツェの様子や学生たちの学生生活、派閥など分かりやすくて割と面白かったです。 少しでもヨーロッパの歴史の知識を増やしたい人にオススメ。			
	1巻	224P (45分)		2009/12/01 00:10:48
フィクサー ☆☆☆☆	内容にしても登場人物の服装や建物にしても、大変な時間をかけて作られている漫画だと思う。例えば建物だったら、現在バロック様式である建物のその外観を取り外し、当時のルネッサンス様式を復元していたりと、手間がかかっている。 表現方法が異なっているだけで漫画もまた文学なのだということがわかる。			
	1〜7巻	100P (250分)	特になし	2009/10/31 00:27:11
くらしく ☆☆☆	漫画、しかも文字数の少ない漫画なので、漫画としてはさくっと読めます。 時代背景を考えながら読めばきっとより深く読めるのでしょう。歴史に興味のない自分はダメでしたが。 美術史・美術理論の講義を受けていた、あるいは受けていると何かしらリンクするでしょう。			
	1巻全部	100P (30分)	22-29	2009/10/14 12:45:59
trick	時代考証のしっかりした背景と、背景が省略されているコマのバランスがすばらしい。 読みやすくかつ現実的に意識的に描かれている。 ただ空気感を演出しようとする余り少々間が長く、マンガとしては読む人を選ぶ部類かも。「寄生			

☆☆☆

獣」や「皇国の守護者」が読める人はほぼストレスなく読めます。

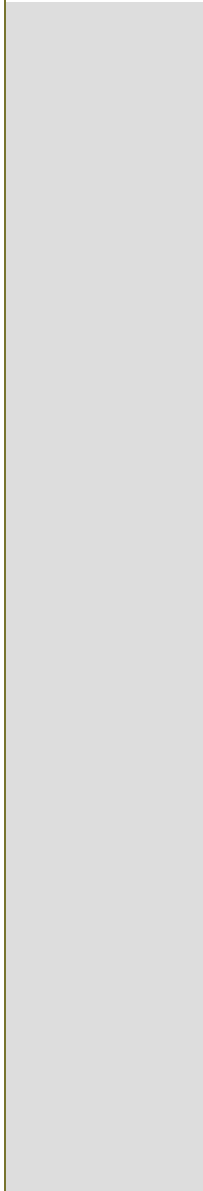
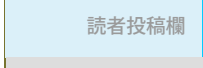
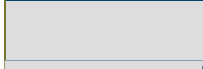
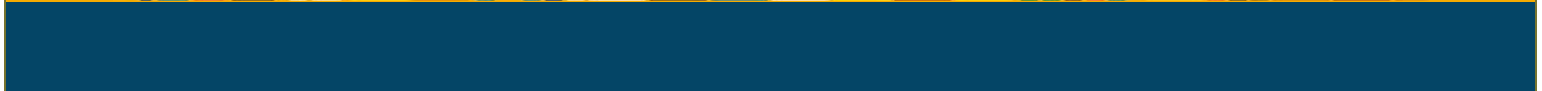
1巻+4巻

100P (45分)

1巻 30-75ページ

2009/10/07 04:35:38

[TOP](#) ^



のぼうの城			
著者名	和田 竜	発行年	2007年
出版社名	小学館	ページ数	332ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4093861960
コメント	のぼうさま。戦国時代の終わりに、ぬうっと現れ出でた主人公の茫洋さ加減がスゴい。その類例のない人物造型を初めからゆっくり味わうのもよし、253ページからのクライマックスシーンをちょっと覗くだけでも。ニュータイプの歴史小説、その方面では、ただいま大ブレイク中。		

読者投稿欄				
-------	--	--	--	--

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ten ☆☆☆☆☆	歴史小説、好きなほうでは無いのですが、この本はすっかり引き込まれて読み切ってしまいました。魅力的なキャラクターに痛快な展開。なんだか少年漫画を読んでいるようなわくわく感があります。和田竜さんの本は面白いですよー。この本を読んで興味のわいた人は「忍びの国」「小太郎の左腕」も読んでみてもいいかもしれません。でも個人的にはこの作品が一番面白いような気もしています。			
	全部	332P (120分)	一気読み推奨	2010/02/15 03:48:35
ソロコフ ☆☆☆	とりあえず序章だけ読みました。もうすぐヒストリアンズの期限ですがテストも終わったことだし続きをゆっくり読もうと思います。なんかおもしろそう。しかしいつまで借りてていいのだろうか。			
	1-21	21P (30分)		2010/02/14 23:31:37
あ、あめふと 2号 ☆☆☆☆	のぼうの城という題名は前々から聞いたことがあったが読むのは今回が初めて。のぼう様が出て来たときはこいつの話なのか！？大丈夫なのか！？という気持ちが強かったが、読み進めていくとのぼう様はただのでくの坊ではなく頭の切れる人気者だった。のぼう様のようなキャラにあこがれてしまうのは自分だけではないはず。			
	1-332	332P (200分)		2010/02/14 14:26:33
trick ☆☆☆	歴史ものとしてはかなり面白い。普段読まないジャンルだけに新鮮だった。ただ本がハードカバーで大きくて…電車の中で鞆を圧迫した。あとオノナツメフリークスとしては表紙で期待しすぎて失敗した…			

	ぜんぶ	332P (220分)	最初と最後	2010/02/01 01:57:41
PO ☆☆	目次がなかったのでとりあえず序章だけ。 苦手そうだったので断念しました。 どうも歴史小説のような漢字の多い本は苦手みたいです。			
	2-21	20P (20分)		2010/01/26 01:43:52
harry ☆☆☆☆	ノンフィクションが苦手、小説大好きな私にとっては読みやすい作品だった。歴史小説も、こういう書き方をしてくれれば受け入れられる。 とにかく痛快。のぼう様。 個人的にカバー絵がオノナツメなのがツボです。			
	全部	332P (330分)		2010/01/04 15:02:27
日吉本町四丁目南 ☆☆☆☆☆	歴史小説というものは、初めて読んだ気がします。 ストーリーも素晴らしいが、ぶつ切りの史実をうまくつなぎ合わせて、ひとつの物語を作っているところがさらに素晴らしい。しかも、最後に書かれている参考文献の多いこと、歴史に達えぬ物語を懸命につくろうとしている姿が見え、物語の余韻をさらに引き延ばしてくれました。			
	全部	332P (300分)	136～	2009/12/15 10:56:16
hana ☆☆☆☆☆	歴史小説を自分から読んだ記憶はあまりないのですが、これはとってもおもしろかったです!! まず、登場人物の生き様ややりとりが、とてもさすがに良かったです!! そして、あまり自分のことや考えを語らないのぼう様が独断で開戦を決断するp136あたりから、ストーリーは一気に加速します。 始めはつかめなかったのぼう様も、読んでいるうちにすっかりその魅力にとりつかれてしまい、気づいたら一緒に戦っていました。 読んでよかったと思わせてくれる、そして歴史小説への扉を開けてくれる作品でした。			
	全部	332P (190分)	全部	2009/11/23 11:16:03
アメフト4号 ☆☆☆☆	友達に面白かったと進められて読んだ。実際に面白く、普段小説を読まない人でも軽く読めると思う。ライトノベルに近い気がする。			
	全部	332P (150分)		2009/11/16 22:07:38
@ ☆☆☆☆☆	面白かったです!!今のところの個人的お勧めNo1かもです。 主人公ののぼう様も、もちろん個性的ですが、周囲の家臣達・敵達のキャラが濃すぎて、正直私の中でのぼう様の影は若干薄いです(笑) 個人的に気に入ったのは靱負と吉継です。特に靱負！いいシーンは立ち読みポイントの195-202ページです。ぜひ。 石田三成ですが、彼の描写もとても多いです。私は三成のことをあまりよく知らなかったもので、新鮮でした。 しかし、この本を読んで、いかに戦というものは人間の感情で動いているのだな、と思いました(経済だけじゃなくってね)。皆の士気をあげる策をうったり、三成の刹那的な気持の動きによる失策…など。それはいつの時代も変わらないのでしょう。			
	全部	332P (180分)	122-169、195-202 ページ	2009/11/13 21:47:14
アメフト3号 ☆☆☆☆☆	長親の人格の不思議さがとても面白い。不思議と周りの人々をまとめ上げて、やる気にさせてしまう感じがとても快感。 ぜひ読むべき1冊です!!!			

	全部	332P (120分)	全部	2009/11/07 18:54:08
アルフ ☆☆☆☆	秀吉の小田原攻めに従軍する石田光成。その先に立ちふさがるのは!? 歴史小説ですが登場人物が人間くさく魅力的に描かれています。 普段読みなれてない人でも一気に読んじゃうのではないのでしょうか。 登場人物に引き込まれるためにも最初から通して読むをお勧めします。			
	全部	332P (120分)	最初から	2009/10/12 20:06:27
TD ☆☆☆☆☆	大スクリーンで映画を観ているような、そんな本でした。ライトノベルも顔負けのキャラ立ちした 登場人物に心躍らせ、戦の行く末にハラハラし、ラストシーンの姫様に思わず心奪われてしまうこ と間違いなしです。			
	1-332	332P (120分)	全部！	2009/10/08 14:49:39

[TOP](#) ^



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

ころころ			
著者名	畠中 恵	発行年	2009年
出版社名	新潮社	ページ数	250ページ
値段	1,400円	ISBN	4-104507108
コメント	しゃばけシリーズ最新刊。 敢えて第8弾のみ。シリーズものは、ハナから読まないと落ち着かないぜ、という反濫読主義のあなたのための、つまみぐいの練習台なのです。使ってやってくださいな。		

読者投稿欄				
ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
あ、あめふと 2号 ☆☆☆	小説なのに全部読んでいないためか十分に状況を把握できなかったが、独特の世界や独特の言い回しが愉快さを与えてくれた。			
	1-50	50P (40分)		2010/02/14 15:02:51
TD ☆☆☆☆	歴史小説はあまり得意ではないけれど、のぼうの城といいこの本といい、かなり面白い。健気で芯がつよく、その一方でどこかもうくもみえるお沙衣さんが可愛くて仕方なかった。			
	1-25	24P (15分)	1-25	2010/02/13 22:29:16
T A K E 2 G U ☆☆☆☆	通常、怖いものや悪として描かれる妖が可愛く、コミカルに書かれている敵対しているのが神というのもまた面白かった			
	全部	250P (140分)	7-51	2010/01/19 13:08:10
PO ☆☆	全部読んだのですが、退屈だったので内容をあまり覚えてません。あまり興味が持てないというか話におもしろみがありませんでした。			
	全部	250P (180分)		2010/01/18 23:28:30
ぴよ彦 ☆☆☆☆	舞台は江戸時代、登場人物のほとんどが妖怪という突飛な設定だけど、笑い・ホラー・恋愛・感動・推理といった要素がバランス良く詰め込まれていてなかなか読み応えがある小説。しかし濫読にはむかないだろう。			
	全部	250P (180分)		2009/12/08 15:31:16

@ ☆☆☆	とりあえず最初の3章だけ。 兄二人の一太郎への愛情がいいですね！ でも、登場人物や設定を理解しきれなかったので、十分に楽しめなかった気が…乱読には少々不向きかも。			
	はじめての、ほねぬすびと、ころころ	154P (180分)		2009/12/02 21:51:00
だいすけもん ☆☆☆☆	時代背景が、たぶん江戸時代とかだと思うんですが、その割にはストレスなくすらすら読めた。ただ、つまみ読みすると、人物関係がわからなくなりそう。			
	1-256	256P (180分)		2009/11/17 09:03:33
ぶるー ☆☆☆☆	一太郎の頭の回転の速さが爽快！ 少し日本語を読むのに苦勞もしたけど、さらっと読めて面白かったです。 ただ問題を解決していただけじゃなくて、恋物語が入ってるのもポイント！			
	最初-P51	51P (60分)	目次から選ぶ！	2009/11/10 23:04:59
名無し ☆☆☆☆	二人の手代が好きなので、立ち読みポイントに書いた2章が特によかった。すごく読みやすいしみんなが若旦那を思う気持ちと若旦那がみんなを思う気持ちに心温まる。話の展開も若干先が読めたけどおもしろい。			
	全部	250P (150分)	ころころ、けじあり	2009/11/06 02:27:04
アルフ ☆☆☆☆	ちっちゃい妖がとってもかわいい。 自分の部屋にもいたらいいのになと思ってしまった。			
	全部	250P (100分)	103-154	2009/10/19 17:12:56

[TOP](#) ^



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

有頂天家族

著者名	森見登美彦	発行年	2007年
出版社名	幻冬舎	ページ数	353ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4344013841
コメント	この世の中は天狗と狸と人間から成り立っています。 三択だよ、って言われたら、何になりたいですか。 ゼツタイ狸を選びたくなる。狸になって偽電に化けて寺町通りを爆走して「それは阿呆の血のしからしむところだ」って何々大笑してみたくなる。たとえ狸鍋にされても。きゃーッ。 章ごとに独立でも読めます。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
うろくた ☆☆☆☆☆	久しぶりに森見登美彦を読みました。 この本もそうですが、やっぱり独特の文調なので、1章で挫折しそうになる・・・が！ 半分ほど読むと、自分と世界観が交わって、読まずにはいられなくなる。 粋な言葉遣いと京都の町の描写。京都に住むのもいいなと思ってしまう。 読んでいくうちに、つつい深入りして文章に酔ってしまった。 酔っ払うことは良き哉良き哉。 僕も阿呆なので、鍋にされて食われて死にたいです。			
	すべて	353P (200分)	章ごとに立ち読みできます	2010/02/14 14:43:37
TD ☆☆	以前読んだ同じ作者の「夜は短し歩けよ乙女」はちょっと苦手だったが、こちらは語り口調が心地よく読みやすかった。主人公がタヌキで、天狗に美女とくればもう少し読んでみたかった。			
	1-24	23P (15分)	1-24	2010/02/13 22:36:55

	母から「君が本を書いたらこのようになるのだろうなあ」と森見登美彦を渡されたのはいつのことだったか。まあしかし読んだそばから妬み嫉妬羨望ジェラシー、圧力からダイヤモンドを精錬せんとするかのような歯軋りと共に、果たして私は4畳半の住民となった。遅れてきた者の何を為さんか。私がすべきことなど何もない。ただモリミーワールドに浸り、休学中の大学5回生を目指すのみである。 かくして私は留年した。 当時の高校生の流れとしては「NHKによこそ」の滝本竜彦が森見登美彦でした。しかし僕は断然森見派で、立派な野田秀樹フォロワーとしてゼロ年代を戦っている姿を、あわよくば自らが行ったかった道を先行する先輩として、応援せざるを得なかったのです。悔しさと喜びが綯い交ぜにある中四畳半→太陽の塔と遊行し、太陽の塔では初めて小説で感動、涙したのです。もう付いて行く			
--	---	--	--	--

ムーディーかまやつ ☆☆☆☆☆	しかあるまい。布教用に買い与えた太陽の塔と四畳半神話体系は全部で何冊になることか、自分でも把握しきれていないくらいです。 しかし付いて行くとなやら雲行きが変わってきて、夜は短し…で完全に本屋大賞文化圏に吸収されてしまったのです。直木賞ロードまっしぐら。有頂天家族に至ってはこの上なく口当たりの良い家族回帰の物語…いや、面白いんだけど！面白いんだけどさ！純文ベクトルのモリミーはいずこへ!? 純文系青春小説から、美少女ゲーム的ループの無効化を描いた後、ポップで煌びやかな京風の空気系作家になってしまった…いやはや突き詰めればそうなるのも理解は出来るのですが、しかしもっと他の可能性はなかったか。私は長男次男の先が見たいのです！ ファンとしては、無効化を宣言されてしまったループ世界にすぎるしかないのか…もはや投げやりといっても過言ではない諦観の中、私は次作を待つのでした… つづく			
	隅々まで隈なく	353P (200分)	屋敷に入ったら海に出たところ	2010/01/19 10:28:39

harry ☆☆☆☆☆	ちょい読みしただけだが、キャラ設定が秀逸だと思う。 天狗とか狸とか。え、読み込んだら結局みんな人間なのかな？とか。 これから続けて読んでみようと思う。			
	1～11	11P (5分)		2010/01/14 15:06:42

#30 ☆☆☆☆☆	とにかくキャラが濃い。 話の展開も明瞭で、情景描写や文章にとってもセンスがあって、すぐに引き込まれる。 登場する地名や場所などを知っていれば、もっと楽しめたのだろうなぁと思う。 それにしても文句のつけようなく面白かった。			
	全部	357P (300分)		2010/01/12 12:00:31

hana ☆☆☆☆☆	実際の地名が出てきたり、やりとりや心の動きが妙にリアルなので、もしかしたら本当の話なのかも？と想像がふくらみます。 登場する者たちはみんなどこか憎めなくて、この世にはきつと、根っからの悪い人はいない!!と思えました。 なんかあったかくって、すがすがしい気分になりました。			
	全部	357P (250分)	p187-214,305-349	2010/01/11 14:27:58

アメフト4号 ☆☆☆☆☆	狸、天狗、人間が暮らす街、京都。 いったいどんな展開になるのか見当もつかなかったが、後半で怒涛のストーリー展開は面白かった。 続編が読みたい。			
	全部	357P (200分)		2010/01/01 21:02:12

まじ ☆☆☆☆☆	話のテンポが良く、言い回しもリズムカルで面白いためつつい笑ってしまった。 特に「阿呆の血のしからしむところだ」のいい文句は痛快で、人間だってみんなそれぞれに「阿呆」を持っているはずで、そんな「阿呆」を恥じないで楽しく生きていこうという気になった。 ラストは家族のつながりの大切さに、涙なくては読めませんでした。いわゆる名著ですね			
	全部	357P (250分)		2009/12/26 01:18:29

肉 ☆☆	小説を読みなれていないためか、途中で飽きてしまった・・・			
	5-52	48P (60分)		2009/12/16 12:23:39

	ユニークな表現や登場人物同士の飄々とした会話が痛快。			
--	----------------------------	--	--	--

ぴよ彦 ☆☆☆☆	文章全体がリズムカルでテンポが良く、スラスラと読める。 主人公と次男・赤玉先生との掛け合いは特にお気に入り。			
	1-100	100P (80分)		2009/12/15 03:25:22
M I A ! ☆☆☆☆	読んでいると想像力をかきたてられる本でした。 独特の言葉遣い、表現の仕方が印象的でした。 狸兄弟、母親の個性がひとりひとりよく出ていて、なんだか微笑ましかったです。			
	1-120	120P (100分)		2009/12/13 23:39:23
アメフト3号 ☆☆☆☆	狸のあたたかい家族の物語です。 お父さんが死んでしまった狸の家族ですが、その父の死の真相、また兄が蛙になった理由が、読むにつれて明らかになっていくので、一気に読めると思います。 重くて読みにくい本は苦手という人にはぜひおすすめです。			
	全部	357P (180分)	特になし	2009/11/23 18:03:41
ソロコフ ☆☆☆☆	森見登美彦の作品は以前に読んだことがあったのですが、やはり表現が面白いなあと思います。自分の語彙が増えた気になります。普段使わない言葉ばかりですが読みにくい感じは受けませんでした。途中までしか読めなかったのですがまた今度続きを読みたいと思います。			
	1-100ページ	100P (90分)		2009/11/11 23:02:18
blue ☆☆☆☆☆	ユーモアあふれるストーリー、そこにはタヌキの世界がひろがっていた。京都という町並みが（特に京大の近くの場所が多い）一層文化と自然の匂いを感じさせ、タヌキなのだけでも人間臭さの持ちようは愛嬌満点。どのキャラクターも憎めず（特に赤だま先生おもしろすぎ）、笑いあり家族の絆あり、最後まで楽しませてくれました。 家族の大切さも感じさせてくれた心温まる一冊でもあります。最高に面白かったです。			
	1-357	357P (150分)		2009/11/05 01:39:21
アルフ ☆☆☆☆☆	同じ阿呆なら踊らな損々ということで、踊りまくる狸が主人公です。狸のかわゆさにはまること間違いない。 笑いあり涙ありスリルありと、とにかくおもしろかった。 同じ著者の作品でも宵山万華鏡とはだいぶ違う作風なので宵山万華鏡が合わなくてもこっちにぜひチャレンジしてください。			
	全部	353P (180分)	5-46	2009/11/03 23:30:57
あ、あめふと2号 ☆☆☆☆☆	ついつい長く借りてしまいました。 最終章はハラハラドキドキの感動でおすすめです。			
	1-357	357P (300分)	288-357	2009/10/28 09:50:09
ぷりぷり ☆☆☆☆☆	とにかく笑える作品です。主人公狸です。それだけで微妙な笑いを誘います。ここまで笑える作品もなかなか無いと思います。 それでいて最後は感動なんです。思わず叫びたくなります「父上！！」と。 爆笑と号泣が入り混じる一冊です。			
	全部	357P (280分)	288-357ページ	2009/10/26 22:16:13
だいすけもん ☆☆☆☆	宵山万華鏡と比べて読みやすかったです。 牝狸の海星たんが、ツンツンしてとても可愛かったです。			
	1-357	357P (240分)	特になし	2009/10/20 06:11:11

@ ☆☆☆☆☆	面白かったです！ 森見登美彦といえば、「夜は短し歩けよ乙女」をちょっと前に買って、読もうとしたものの、なんだか読みづらく、1章の途中で挫折しました… しかし、この本は読みづらいなんてことはなかったです。 まず、タイトルの付け方が絶妙。この作品が基本コメディであると同時に、家族愛の本でもあることを、うまくに表現しています。 家族も皆個性的でいながら、感情移入もできて、よかったです。4人兄弟の3男が主人公って珍しい気がします(たいていは一番下)。 特にグッときたのは、やはり父親。私もああいう最期を迎えられたらいいなと思いました。無理かもしれないけれど… 私はこの3択だったらどうでしょう…やはり狸でしょうか(笑) 講義のブックリストにはないけれど、「夜は～」にも再チャレンジしてみたいと思いました。			
	全部	353P (240分)	208-211ページ、355-357ページ	2009/10/19 23:40:11

T A K E 2 G U ☆☆☆☆	一人の阿呆な狸と、その家族、人間、天狗の間で起こる様々な出来事の物語。 会話重視の本なので、スラスラ読める。 主人公とその先生の天狗のやり取りは面白く、少し感慨深い			
	1-357	357P (140分)	130-	2009/10/10 16:03:48

[TOP](#)へ



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

宵山万華鏡

著者名	森見登美彦	発行年	2009年
出版社名	集英社	ページ数	232ページ
値段	1,300円	ISBN	4-087713039
コメント	院生さんに大々人気だったモリミーワールドの新作を加えてみました。 すべてこの世は幻か。祇園祭の華やぎのなかへどうぞ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
あ、あめふと2号 ☆☆☆	これは短編集のようになっていてはじめての二つを読む限りでは、全部宵山という場所でのことではあるが、万華鏡はわざとらしく登場しているだけだったので、題名を宵山短編集にした方がよいのではないかと思ったが、宵山姉妹と宵山万華鏡はリンクしていて万華鏡は非現実を比喻していることが読み進めていくと分かった。 個人的にはどんでん返しが用意されていた宵山金魚の話がよかった。			
	1-77,161-240	157P (120分)		2010/02/14 14:58:37
肉 ☆☆☆☆☆	読みやすかった！ 小説は苦手なんですけど割りと読み進めることができました。 幻想的なところが売りなのかもしれないけど、個人的にはそこに至るまでの何気ない日常の感じが面白くて、好きでした。			
	1-77	77P (80分)		2010/01/30 11:55:47
ムーディーかまやつ ☆☆☆☆☆	前回までのあらすじ 好きなんだけど、みんなに読んでもらいたいんだけど、みんながみんな好きになるのは嫌！ キャッチーな装丁に一抹の不安を覚えながら宵山万華鏡を開いてみると、そこには擬古文スタイルをかなぐり捨てた森見先生がいるではありませんか！イタズラの可能性を頭に残しながらも読み進めていくとなんと一章が終わった！ 「帰ってきた…俺たちのモリミーが…帰ってきたんだ…っ！」 耽美な中に突然現れる幻想。これぞ森見の真骨頂、マジックリアリズム作家の面目躍如だー！わほーい！作った文体だというのは透けて見えるし、後の章では油断からか編集サイドの意向なのかいつものモリミーの地が出てしまったりするのですが、最終章でしっかりと一冊を締め切ります。なんと美しい本でしょう。不安を感じた表紙も、今ではこれ以外に考えられません。エピソードも何一つ落とすことは出来ないでしょう。素晴らしい。グレートな一冊です。 そして何より、ココでは「わからん」の大合唱。そう、僕たちのモリミーは字義通り、僕たちのリーダーなんだ！どこまでも付いて生きますぜい、先生！			

	端から端まで	232P (180分)	宵山姉妹でダメな人は帰ってくれ！（笑）	2010/01/19 10:56:59
PO ☆☆	読みにくい 意味がわからないところが多かった			
	全部	232P (180分)		2010/01/11 22:41:41
まじ ☆☆☆	同じ模様は二度と見ることでできない万華鏡を、幼いころ不思議な気持ちで覗いていたキラキラな思い出が懐かしくなった。 でも各章ごとの微妙なリンクと話の終わり方になんとかスッキリ出来なかった。			
	全部	240P (200分)		2010/01/09 21:38:20
thjam ☆☆☆	とても切ない作品でした			
	全部	240P (30分)		2009/12/11 02:12:19
日吉本町四丁目南 ☆☆	それぞれの話が別の話とリンクしており、スピンオフのような感じで読みやすかったのですが、なんか消化不良という感じでした。この本の「無意味に訳がわからないところ」は、あまり良い印象を受けませんでした。 まあ、宵山が毎日来れば、私は毎日誕生日なのですが・・・			
	全部	232P (180分)	宵山迷宮？	2009/11/26 11:17:59
アルフ ☆☆☆	実際に祇園祭行ったことあればまた違うのかもしれないけど、ちょっと物語に入り込みにくかった。 「宵山金魚」と「宵山劇場」は読みやすかったのでまずはここから読んでみてはいかがでしょうか。 ただし、金魚→劇場の順番（掲載順）で読むのを強くお勧めします。			
	全部	232P (100分)	41-126	2009/11/03 23:37:32
@ ☆☆	幻想小説…ちょっと幻想的すぎるんじゃないでしょうか… 章ごとに独立しています。各章はリンクしていますが、私は好きな章を選んで読んでもいいと思います。 正直、有頂天家族の方が数十倍読みやすかったです汗			
	全部	240P (240分)		2009/10/23 21:39:10
だいすけもん ☆☆☆☆	京都の祇園祭りを舞台にした、様々な登場人物の短編集。もちろん、短編集なのでそれぞれを読むことは可能だけでも、各人物の短編は複雑に絡み合っているの、全部読むのがいいかも。			
	1-240	240P (300分)	なし	2009/10/12 22:58:18
TAKE2GU ☆☆☆☆	少し不思議で、少し不気味で、少し滑稽な話。 各話で、一応完結しているため、濫読はしやすいと思ったが、話を跨いでの伏線や人物関係等があるため、最初から順に読んだ方が楽しめると思う。 とても読みやすく、本が苦手な人でもスラスラ読めると思う。			
	1-240	240P (150分)	41-	2009/10/10 15:48:40



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

1 Q 8 4 BOOK1・2

著者名	村上春樹	発行年	2009年
出版社名	新潮社	ページ数	1,038ページ
値段	1,800円	ISBN	4-103534228
コメント	青豆さんステキ☆ 第1章の首都高の非常階段をハイヒールで降りるところまでで「キター」という感覚に襲われなかったら、そのあとの1000ページにエネルギーを費やしてもムダでしょう。 ブンガクってこちらが向こうに合わせるんじゃなくて、向こうがこちらに合わせてくれるもんだと思うから。それは、2つの月が浮かぶこの世界の隠しテーマでもあります。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ten ☆☆☆	初めてまともに村上作品と向き合いました。他のコメントで春樹臭が薄いというようなことが書いてあって、何とか読み切れたことに納得。しかし、いやあ、体力使った…。 作品的には消化不良な感じがあるので続編に期待ですかね？			
	全部	1038P (600分)		2010/02/15 03:57:16
肉 ☆☆☆☆	2人の話が章ごとに交互にくるので、短編小説を読んでいる感じで読みやすかった。 そして3章を読んだ時点でもう「え～！」って。 続きが気になるというもあるけど、それ以上に、「売れたみたいだし読んでみるか」という感じ、、、 コメント締め切り間近&眠いのでここまでにするけど、起きて、別の課題を終えたら、また続きを読みます！			
	1巻の1－76	76P (60分)	1章、2章	2010/02/15 02:17:48
黒鳥 ☆☆☆	村上春樹の本は人を選ぶと言いますが、私は選ばれたかな（笑 特に何があるってわけじゃないんだけど、個人的に喉がカラカラの時に水を飲んだときみたいな感覚？全身に沁み渡っていくような感覚をこの本では味わいました。 要は読んでいてとても心地よかったよね。悪くないと思う。 春樹さんは、とても感覚的な文章のようで実はとてもロジックにこだわった論理的な文章を書くような気がする……。という私の考え。 そんな人にはない特殊さを本人も分かっているのか、少し自己陶酔的な感否めないけれど。。 まあ、本に選んでももらえたら読んでみたら？って感じです			

	11-554	544P (420分)	青豆	2010/02/12 23:06:41
名無し ☆☆☆☆	正直かかった時間とか正確に分かりません… 3日かかった。村上春樹は大学入ってからかなりたくさん書籍を読んだが、これも村上春樹っぽいな。 村上春樹の作品は体力と気力が要るけど、読んだ後世界が違って見えるからおもしろい。私には合っていると見た。			
	1-544,1-494	1038P (1000分)		2010/02/04 03:53:11
とんべい ☆☆	話題の本なのでミーハー根性で手にとりました。 けど村上春樹はちょっと苦手みたいです。			
	1-29	30P (60分)	?	2010/02/04 00:58:40
日吉本町四丁目南 ☆☆☆☆	これから月を見るのが恐くなりそうです（笑） はっきり言って、非常階段がなくなるのにはビビりました。でもそれが必然であるのかとも思いました。でも次は逆から上ってみたいくなるかも。 春樹は難しすぎるような世界かと思ってましたが、予想以上にすんなりと読めました。これが「ブンガクは向こうが合わせてくれる」ってことかな？			
	全部	1038P (900分)		2010/02/01 09:17:52
びよ彦 ☆☆	今まで村上春樹の作品はなんとなく敬遠してたけど、何事も経験ということで敢えて挑戦してみた…けど、一通り読んでみてあまり良い印象は抱かなかった。 知識自慢としか思えないクラシック音楽やファッションブランドの描写や説明、妙に多くて生々しいけど必要性は感じない性的描写、誰もが注目しそうな個性をベタベタはりつけた登場人物。より格好良く、より魅力的に、といった著者の意図がひしひし伝わってきて逆に萎える。 創作熱に浮かされた成績優秀な男子中学生が自分に酔いしれながら書きあげた作品、という方がしっくりくる。			
	一巻 11-377	367P (300分)		2010/01/12 16:50:09
harry ☆☆☆☆	ミニスカートにハイヒール、ぐっときました。 交互に登場人物が現れるタイプの小説に山田詠美の「PAY DAY!!」があるが、飽きが来ない反面一連の流れとして捉えづらいという難点があると思う。			
	1巻1-55	55P (35分)	1巻22-23	2010/01/06 15:06:58
Caporal ☆☆☆☆☆	2つの登場人物を交互に登場させるのもなんか世界がちょっと変わってしまうのも村上春樹ワールドだなと思う。 とても面白い本でした。僕が教えている塾の小学生が1 Q84を読んでいるという話を聞いたのでちょっと話をしたのですが「奥が深い」と言っていました。特に奥が深いとは思えませんが笑、子供から大人まで楽しめる読みやすい作品なんだなあと実感しました。 来年の夏に3巻が出るので楽しみにしています。でも2巻で終わりにするのもいいんじゃないかな。謎がうだうだ残った形で消化不良状態になるのがたまらないので。			
	全部	1038P (850分)		2010/01/05 11:18:09
	まず、性的描写が多くてワロテしまいました。個人的にはそういうの嫌いじゃないけども……。			
	あと、無駄な知識披露いらねと思いました。例えば、ヤナーチェックの説明ってそんなに必要！？			

だいすけもん ☆☆☆☆	みたいなの。基本重要じゃなさそうなところは流し読んだんで、というかむしろ無視に近かったからはっきりとは断言できないけども、その説明した事柄はこの物語にとって重要なファクターっていうのはわかるけども無駄多いよなあ。 いわゆるパラレルワールドを題材にした物語で、まあネタとしては既出だけでも、二つの世界がどのように結びつくのかを読者に推理させる点においては非常に深みがあると思った。けっこう引き込まれてしまった自分がいる。ただ、読み進めているうちに、『あれ、この時系列おかしくね?』とか思って戻ってみるが、なにぶんページ数が多いから、探すの挫折みたいなのwww 基本ふたりの視点でかかれているが、最初の方は全く関係がないように見えて、実はどうつながるのかみたいなのは垣間見えた。でもbook2読むかなあ・・・? 二人に青豆タンキターーー！とは自分は思わなかったです。やっぱ夏奈タンでしょ！？関係ないけど。		
	1-554	554P (360分)	2009/12/15 09:44:00

フィクサー ☆☆☆☆☆	村上春樹の小説の世界は独特で、どう表現するべきなのか良くわからないけれど、自分は読んでいて、吐き気に近いような、内臓がぐるぐる回るような、そういう変な感覚を覚えた。村上春樹の小説の世界にいと、そうになってしまうのに、その世界から出ようとは思わない自分がなぜかいて、どんどんそこに浸りたくなってしまいうような不思議さがあつた。電車で、通学時間をつぶすために読んでいたのに、自分が降りる駅に到着したときに、降りたくなくて、あーもう着いちゃったよ・・・って。そうなるほどのなにかがこの小説にはあるのだと思う。 あと、村上春樹がすごく頭のいい人っていうのは感じた。		
	一巻、二巻	1038P (1000分)	2009/12/13 22:06:28

うろくた ☆☆☆☆☆	これほど人に薦めにくい本も珍しい。 春樹が好き、と公言している人にしか薦められません。しかし、僕的には超面白かったです。 とは言っても、村上春樹の作品にしては、『海辺のカフカ』などと比べて比較的わかりやすく、一般人向けな気がします。相変わらずぶっ飛んではいますけど。 描いている内容は完全に非日常。性生活も非日常。どこかおかしい人ばかり。それなのに、なぜか引き込まれる。本に身を任せて読むのが、正しい読み方だと思います。世界観にどっぷり漬かれれば、不思議な感覚を味わえるでしょう。 あなたも春樹ワールドへ。 たまには非現実もいいもんです。		
	全部	1038P (480分)	立ち読みする本ではありません。 2009/12/11 23:39:00

#30 ☆☆	結果、個人的にこの作家は好きじゃない。と、全部読んでから思った。 無理やり不思議感を作り出そうとしていて、不自然な印象を受けた。「どうだ、これが俺の世界観だ」って見せつけてる感じで、その独りよがり感がどうも気に食わなかった。 ただ、最初身構えていたほど読みにくくもなく、多少の時間つぶしぐらいには使えるかなと。話題の本だし。		
	全部	1038P (900分)	2009/12/07 15:04:51

	猫の街のくだりを立ち読めと書いた方がいいものの、だったらブラックウッドの「いにしへの魔術」を読めという話になりますか？ さて、この本の感想を書けとはなんと難しい… 人にこの本を要約してあげると、大抵「それなんてラノベ?」という感想が返ってくるほどにアニメっぽい筋ですが、断じてキャラクター小説ではないのでラノベとして読むとまったく面白くありません。そもそも話がスカスカですし…エッチしてるだけですし…（物語に出た拳銃が発射されない可能性があってもいいなんていうなら男が必ず発射しなくてもいいじゃない!） さりとて村上の小説として読んでも村上臭を薄めているので駄目でしょう。さらには本書に導入された様々なギミックも、それぞれに対しすぐさまより良い例を他の人の作品に見つけることが出来ます。注意深く、本当に注意深く、あらゆることがデチューンされているのです（僕は村上春樹は		

ムーディーかまやつ ☆☆☆☆☆	技術屋だと思ってます）。そして駄作に思える作品を書き上げた。現代を語る新しい切り口を与えてくれるわけでもなく。一体コレは何を意味するのか。ここから先を議論していくのが楽しい本なんでしょうが、あいにくと語り合う仲間もおらず、ただ今月末の思想地図発売を待つだけです（東浩紀先生達が巻末でなんか語るみたいです）。あ、安藤礼二先生の批評がようやく読める！読んでよかったのは周辺本が読めるようになったことですかね。 話はつまらないくせに、こんなにもグズグズ考えさせ周辺本まで売らせてしまうこの本に星4つ、ちょっと評価が低すぎて次残るのかどうかかわからないのは残念だから+1。続編出ないと答えられないですよー。 あ、村上さんは「ヴィトゲンシュタイン云々…」と言っていますが、ヴィトゲンシュタインに関しては我々が橋爪大先生が名著を数々残していられっしやいますので、皆で読みましょう。僕も読みます。			
	全部	1038P (800分)	下163-167	2009/11/08 00:09:35

あ、あめふと2号 ☆	先生にアメフトやっててこの本が読めたらなんかスゴいと言われて読みはじめてみましたが、早々と挫折してしまいました。 もう少しいろんな本に触れてみてからまた挑戦したいと思います。			
	1-100	100P (120分)		2009/10/28 09:19:17

ねりな ☆☆☆☆☆	「物語の中に拳銃が出てきたら、それは発射されなくてはならない。」by 最強のゲイ 私はたぶん物語が好き（少なくともノンフィクションものよりは）ですが、その理由の1つはもしかしたら上の文が表しているのかも、なんて思いました。 物語に出てくるものは全て人工物ですが、でもそこが良い。 例えば、文中で何気なく描写された（ように見える）鉢植えの花と、何気なくそこにある現実の鉢植えの花とは、個人的には前者の方が楽しいのです。 来年の夏が楽しみです。			
	全部	1038P (1000分)		2009/10/20 10:16:50

るー ☆☆☆	時間がなくて全部読めなかったのが残念です。 正直よくわかりませんでした。（笑） 文学って奥が深いですね。（笑）			
	1-231	231P (240分)	11-29	2009/10/20 01:06:06

@ ☆☆☆	とにかく話題になっている本で、「これだけは読んでおきたい！」と思っていたので、思い切って全部読破。 私は首都高の非常階段をハイヒールで下りるところで「キター」とは思いませんでしたが(笑)なんとかよ読みきりました。 正直、感想としては、世間で話題になっているほどのものでは…という感じです。私が性描写が苦手なだけです… 1巻はまだしも、2巻になって、「あ、これファンタジーだったの？」という感じがしたり、1巻で伏せまくっていた、2人の主人公の関係が、2巻であっさり明らかになったりなど…個人的に不満が多いです、すみません。 登場人物達は、どこか現実離れしたところが多く、共感しづらい面もありましたが、彼らが、というよりも、人間は皆、結局孤独なのだなあ、ということを感じさせられました。その辺りの描写はさすがかなと思いました。 この本、1と2で終わらないんですね！明らかに3巻へ続いています。もしかししたら、この本を読むのは全館そろってからにしても良いかもしれませんね。きっとその前に講義が終わってしまいますが(笑) 私も全部読み終えたら、もっと良い感想が書けるかもしれません。			
	全部	1038P (1000分)	Book2 480-488ページ	2009/10/13 23:02:25